

八尾市第6次総合計画  
中間報告書(案)

令和6年3月

八尾市総合計画審議会(評価部会)



## はじめに

近年は人口減少や少子高齢化が進むとともに、雇用環境の変化や情報通信社会の急速な進展等により市民の価値観やライフスタイルの多様化が進み、さらにコロナ禍において従来の手法による地域活動が制限され、活動の停滞が長期間にわたるなど、地域コミュニティの維持が困難な状況にあります。市民どうしのつながりの希薄化が進む中、多様な主体とともに持続可能なまちづくりを進めていくことが、これまで以上に重要となります。

八尾市では、令和2年度に『八尾市第6次総合計画「八尾新時代しあわせ成長プラン」』を策定し、「つながり、かがやき、しあわせつづく 成長都市 八尾」を将来都市像に掲げ、市民がつながり、かがやき、そしてしあわせがつづくことで、多様な市民のつながりが新たな価値や魅力をうみ、可能性のあるまちとして発展し、新たな人や企業を呼び込む好循環を作り出すことで、八尾のまちが成長し、八尾の魅力が世界へ広がっていくことをめざしています。

令和6年度には同総合計画8か年の中間年を迎えることから、令和5年度に前期基本計画(令和3～6年度)4か年の推進状況を総括、評価し、より良い後期基本計画(令和7～10年度)の策定をめざすこととされました。そのため、令和5年12月に、市長の附属機関として、学識委員、行政機関、事業者や公募の市民委員からなる「八尾市総合計画審議会」が設置され、専門部会として「評価部会」を設置し、前期基本計画の総括となる外部評価に着手しました。

当部会は、令和6年3月までの間、全体会を1回、専門部会を4回開催し、行政による前期基本計画期間の一次評価について「検証」を行い、後期基本計画に向けた取り組みなどに対し「提案」を行うため、活発な議論を重ねてきました。

評価の結果、前期基本計画における各施策については、「めざす暮らしの姿」を実現するために様々な取り組みが展開されており、それらの進捗状況についても、八尾市が行った一次評価内容は概ね妥当であるとの結論に至りました。

一方で、積極的に施策を展開し、成果を挙げていると見られる面が、必ずしも市民に分かりやすく伝えられていないのではないかとといった問題意識の下、指標の改良や、現状の取り組み状況を踏まえた課題の精査、行政の取り組みの周知の充実を求める等の提案を行いました。

八尾市が、当部会の検証結果と提案を取りまとめた本報告書を真摯に受け止めていただき、基本構想に掲げた将来都市像の実現に向け、今後の施策展開や後期基本計画の策定に活かされることを祈念いたします。

令和6(2024)年3月  
八尾市総合計画審議会 評価部会  
部会長 田中 優

## 【目次】

1. 八尾市第6次総合計画の概要 .....	1
(1) 八尾市第6次総合計画の役割と構成・計画期間 .....	1
(2) 将来都市像とまちづくりの目標 .....	2
2. 八尾市総合計画審議会について .....	3
(1) 目的 .....	3
(2) 委員構成 .....	3
(3) 専門部会の設置 .....	3
(4) 審議経過 .....	4
3. 八尾市第6次総合計画前期基本計画の検証と提案 .....	6
(1) 部会での審議の進め方 .....	6
(2) 評価資料、評価方法について .....	6
(3) 各施策の評価結果(外部評価) .....	7
(4) 評価の総括 .....	42
あしがき .....	43
■資料編 .....	44
参考資料1. 八尾市総合計画策定条例 .....	44
参考資料2. 八尾市総合計画審議会規則 .....	44
参考資料3. 会議の公開に関する指針 .....	44
参考資料4. 八尾市第6次総合計画前期基本計画総括報告書 .....	44

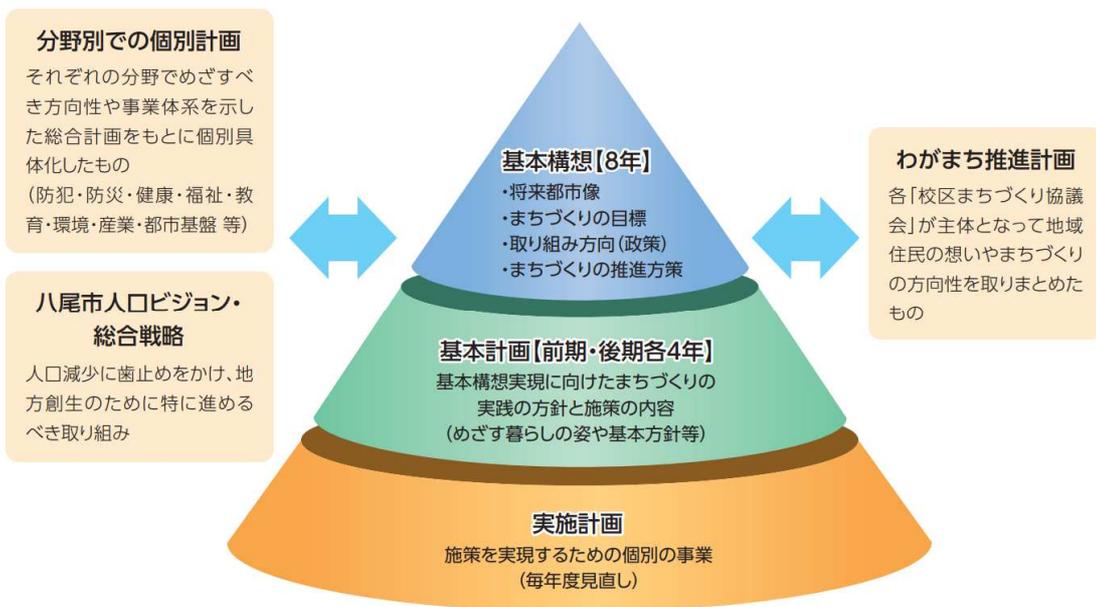
# 1. 八尾市第6次総合計画の概要

## (1) 八尾市第6次総合計画の役割と構成・計画期間

総合計画は、将来における八尾市のあるべき姿と進むべき方向についての基本的な指針であり、総合的・計画的にまちづくりを進めるために策定するもので、基本構想、基本計画及び実施計画の3層で構成しています。

八尾市では、令和3年度(2021年度)から令和10年度(2028年度)までの8年間を計画期間とする八尾市第6次総合計画『八尾新時代しあわせ成長プラン』を市民とともに策定しました。基本構想においては、この8年間でめざす八尾市の将来都市像として、「つながり、かがやき、しあわせつづく、成長都市 八尾」を掲げるとともに、その実現に向けた6つの「まちづくりの目標」を示しています。また、まちづくりの推進方策として、「横断的な視点によるまちづくり」と「共創と共生の地域づくり」の2つを定め、まちづくりを実践しています。

基本計画は、前期・後期の各4年間についての具体的な施策を体系的に示すものです。34の施策について関連する「まちづくりの目標」を示すとともに、めざす暮らしの姿や現状と課題、基本方針を示すものです



年度		令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	令和11	令和12
		2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
総合計画	基本構想	8年									
	基本計画	前期4年				後期4年				第7次総合計画	
	実施計画	4年(毎年度見直し)				4年(毎年度見直し)					

図:総合計画の構成と期間

## (2) 将来都市像とまちづくりの目標

### ①将来都市像

将来都市像は総合計画の推進により実現をめざす八尾市の姿を表したものです。八尾に関わるすべての市民がしあわせを感じられるまちをめざし、また、社会全体、さらには未来の人々のしあわせにつながることをめざして、八尾市のあるべき姿を示しています。

つながり、かがやき、しあわせつづく、  
成長都市 八尾

八尾では古くから人と人とのつながりが大切にされており、地域住民、市内への通勤者・通学者、企業や団体等あらゆる市民がつながり、自分らしくかがやくことで、自らのしあわせを感じるとともに、しあわせの多様性を理解し、お互いのしあわせを考え行動することで、市民みんなのしあわせがつづく、そういう八尾でありたいという想いを込めています。

市民がつながり、かがやき、そしてしあわせがつづくことで、多様な市民のつながりが新たな価値や魅力をうみ、可能性のあるまちとして発展し、新たな人や企業を呼び込む好循環を作り出すことで、八尾のまちが成長し、八尾の魅力が世界へ広がっていくことをめざします。

### ②まちづくりの目標

市民の日常生活の場面とライフステージという視点から、市民のしあわせが実現するための6つのまちづくりの目標を掲げています。この目標ごとに取り組みの方向(政策)を定め、マトリクス型(格子型)の施策体系のもと、横断的な視点で施策を推進しています。

1. 未来への育ちを誰もが実感できるまち
2. もしもの時への備えがあるまち
3. 世界に魅力が広がるまち
4. 日常の暮らしが快適で環境にやさしいまち
5. つながりを創り育て自分らしさを大切にしようまち
6. みんなの力でともにつくる持続可能なまち



図:6つのまちづくりの目標

## 2. 八尾市総合計画審議会について

### (1) 目的

「八尾市総合計画審議会」(以下、「本審議会」という。)は、執行機関(市長)の附属機関として、八尾市総合計画の基本構想及び基本計画並びに八尾市総合戦略に関する事項を調査、審議するために設置されるものです。今回は、八尾市第6次総合計画前期基本計画及び第2期八尾市総合戦略に係る令和4年度の取り組み実績について審議するため、令和5年12月に設置されました。

### (2) 委員構成

本審議会は、学識経験者4名、関係行政機関職員3名、まち・ひと・しごと創生の目的に係る団体等選出者7名、公募市民委員9名の合計 23 名で構成し、会長に田中 優氏、副会長に清水 陽子氏を選任しました。

### (3) 専門部会の設置

八尾市第6次総合計画前期基本計画及び第2期八尾市総合戦略に係る令和4年度の取り組み実績について審議を行うため、各委員の専門性を活かし、2つの専門部会に分かれてそれぞれ審議を行いました。各委員の所属は以下の表の通りです。

#### ①評価部会

前期基本計画期間(令和3年度～令和5年度)における市の取り組み状況を調査し、実績を取りまとめた八尾市第6次総合計画前期基本計画総括報告書に対して、評価内容の検証を行うとともに、後期基本計画の策定・推進に向けて、必要な取り組みや進め方等を提案しました。

この中間報告書は、評価部会における審議経過を取りまとめたものです。

#### ②総合戦略部会

令和4年度における市の取り組み実績に基づき、八尾市総合戦略の基本目標毎に効果検証を行いました。また、今後の地方創生に資する取り組みについて、各委員の自由な発想で提案しました。

(凡例)◎:部会長 ●:副部会長 ○:委員

氏名	所属等	専門部会	
		評価部会	総合戦略部会
和泉 大樹	阪南大学 国際観光学部	○	●
清水 陽子(副会長)	関西学院大学 建築学部	●	
田中 優(会長)	日本福祉大学 社会福祉学部	◎	
和田 聡子	大阪学院大学 経済学部	○	◎
黒木 啓良	経済産業省 近畿経済産業局 地域経済部		○
松本 光次	布施公共職業安定所		○
吉田 典子	大阪府 商工労働部 商工労働総務課		○
伊藤 由満	株式会社 日本政策金融公庫 東大阪支店		○
上木 淳一郎	株式会社 池田泉州銀行 八尾支店		○
川野 充信	八尾商工会議所		○
久保 隆志	大阪シティ信用金庫		○

氏名	所属等	専門部会	
		評価部会	総合戦略部会
鈴木 繁	株式会社ジェイコムウエストかわち局		○
高島 小百合	株式会社タカヨシジャパン		○
野村 しおり	大阪糖菓株式会社		○
柿本 雄貴	市民委員	○	
川野 昭子	市民委員	○	
古河 真実	市民委員		○
坂口 雄彦	市民委員		○
佐野 天音	市民委員	○	
重田 弥栄	市民委員	○	
高須 彩加	市民委員		○
田上 修治	市民委員	○	
宮本 利忠	市民委員	○	

(令和5年12月時点)(号数別・50音順・敬称略)

#### (4) 審議経過

当審議会は、令和5年12月に設置された後、評価部会において、約1か月半にわたり、全体会議を1回、専門部会を3回開催し、前期基本計画期間の取り組みについて審議しました。限られた時間の中ではありませんでしたが、資料を事前に読み込むなどして審議の効率化を図るとともに、市民や学識経験者としての視点から、活発な議論を重ねてまいりました。評価部会の開催にあたっては、審議対象とする施策の担当課に出席いただき、審議の過程で必要な情報提供や補足説明を受け、審議に活かしました。なお、会議は公開とし、会議資料や議事録を八尾市ホームページ等で公開しました。

日程	主な議事	
第1回全体会 (R6.12.15(金))	(1) 市長あいさつ (2) 委員委嘱 (3) 委員紹介及び事務局紹介 (4) 会長・副会長の選出 (5) 会議の公開について (6) 審議会の内容と進め方について (7) 部会設置と部会長指名について	
第1回評価部会 (R6.1.26(金))	(1) 八尾市第6次総合計画前期基本計画施策 総括書について (2) 施策の審議について ・子ども、子育て支援に関すること ・学校教育に関すること ・保健、医療、公衆衛生に関すること ・地域福祉(高齢福祉、障がい福祉、児童福祉、 介護保険等)に関すること	<b>【審議対象施策】</b> 施策1 施策21 施策2 施策23 施策3 施策24 施策4 施策25 施策19 施策26 施策20

日程	主な議事	
第2回評価部会 (R6.1.26(金))	(1) 施策の審議について ・本市の魅力資源、発信に関する事 ・産業振興、就労、雇用に関する事 ・消費者保護に関する事 ・都市基盤、公共交通に関する事 ・住まいに関する事 ・上下水道に関する事 ・防犯、防災に関する事 ・環境、資源に関する事	<b>【審議対象施策】</b> 施策5 施策12 施策6 施策13 施策7 施策14 施策8 施策15 施策9 施策16 施策10 施策17 施策11 施策22
第3回評価部会 (R6.2.2(金))	(1) 施策の審議について ・消防に関する事 ・人権の尊重と多文化共生に関する事 ・市民協働と地域のまちづくりに関する事 ・生涯学習・スポーツに関する事 ・行政経営に関する事 ・公共施設マネジメントに関する事	<b>【審議対象施策】</b> 施策18 施策31 施策27 施策32 施策28 施策33 施策29 施策34 施策30

### 3. 八尾市第6次総合計画前期基本計画の検証と提案

#### (1) 部会での審議の進め方

事務局から提案のあった、以下の方法を参考として部会審議を行いました。

##### ■各委員における事前検討

・専門部会前に、次回の専門部会で検討を行う施策の資料を読み込む。



##### ■部会当日の進め方

【1】事務局より各施策概要について説明を受け、全員で認識を共有

【2】各施策の総括シートについて、事務局への質疑を踏まえた、審議の実施【検証】

【3】各施策の総括シートの内容を踏まえ、後期基本計画の策定に向けた取り組み内容や検討すべき課題、施策指標等の審議の実施。【提案】

#### (2) 評価資料、評価方法について

##### ①評価資料

前期基本計画の一次評価は「八尾市第6次総合計画前期基本計画 施策総括書」として取りまとめられました。前期基本計画の34施策について取り組みの評価がなされ、施策総括シートとして施策ごとに作成されています。

##### ②評価方法

###### ・【施策の総合評価】の見方

定量的な成果を測る【指標の達成率】と、指標の達成率からは測れない定性的な成果を測る【主な取り組み内容】等から加味し、以下の3段階で評価しています。

【施策の総合評価に関する総括】には、施策の総合評価を判断に至った成果や要因について記載しています。

総合評価	目安
◎	施策の「めざす暮らしの姿」が概ね実現した。又は、実現に向けて大きな成果を挙げている。
○	施策の「めざす暮らしの姿」の実現に向けて、着実な成果を挙げている。
△	施策の「めざす暮らしの姿」の実現に向けた成果が得られていない。又は、社会情勢等により停滞している。

###### ・【指標の達成率】の見方

各施策に設定している施策指標の達成率(令和5年度実績見込み)により評価し、施策指標が複数ある場合はその平均値としています。算定に使用したデータは各施策総括シートの5「めざす暮らしの姿」実現のための施策指標の推移に記載しています。

また、令和5年度の実績見込みについては、実現性を考慮した見込値となっています。

$$\text{達成率} = \frac{\text{令和5年度の実績見込}}{\text{令和5年度の計画値}}$$

### (3) 各施策の評価結果(外部評価)

34施策の評価結果(外部評価)について、下記の様式で次ページ以降に掲載しています。

施策1	切れ目のない子育て支援の推進	施策推進部局	こども若者部 健康福祉部 教育委員会事務局							
<b>めざす暮らしの姿</b>										
1. 妊娠・出産・子育ての支援の充実を図ることにより、妊娠・出産を望むすべての人が、安心して子どもを産み育てられる環境が整っています。 2. 保護者が子どもや子育てに関して、身近にいつでも悩みや不安を相談できる場所があり、適切に対応・支援を受けられています。 3. 地域全体で子育て家庭を見守り、支援をすることで、家庭環境にかかわらず、すべての子どもの権利が守られ、体罰のない、心身ともに健やかに育つ環境が整っています。										
<b>「めざす暮らしの姿」実現のための施策指標の推移</b>										
指標	単位	基準値	R3 (2021)		R4 (2022)		R5 (2023)		R6 (2024)	
			計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績見込	めざす値	
1	子ども・子育てに関する総合相談件数	件	9,683	10,000	11,687	11,000	13,654	12,000	15,000	12,000
2	地域子育て支援拠点における相談件数	件	2,807	3,000	2,702	3,100	4,574	3,300	4,600	3,400
3	児童虐待の相談件数	件	7,513	7,700	8,766	8,500	9,041	9,300	9,800	9,300

前期基本計画の内容を記載しています。  
 ・施策名  
 ・施策推進部局  
 ・めざす暮らしの姿  
 ・施策指標の推移 (令和3年度～令和5年度)

**1 一次評価(推進部局による内部評価)**

指標の達成率	施策の総合評価に関する総括
100.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健師、助産師等による妊娠、出産、子育てに関する様々な相談等に応じ、切れ目のない支援体制を充実するなど、安心して子どもを産み育てる環境整備を行った。</li> <li>こども総合支援センター「ほっぷ」の開設により、複数の分野にまたがる相談や「どこに相談したらよいかわからない」保護者や子どもの相談を受け止め、母子保健や教育分野との連携強化により適切に対応、支援できる体制をつくることができた。また、相談員の配置・相談室等の整備や、親子の交流スペース「あそびのひろば」を設置し、ほっぷの機能強化を行った。</li> <li>児童虐待やいじめなどの困難に直面している子どもたちの複合的に絡んだ課題に対しては、多職種、多機関が連携して、子ども本人だけでなく家庭全体として根本的な課題を解決につなげる体制が強化されたことで子育て家庭を多機関で支援する環境整備を実現した。</li> <li>令和6年(2024年)4月施行の改正児童福祉法に基づき、母子保健分野と児童福祉分野が一体的に支援等を行うこども家庭センターの設置検討を進め、予防的支援や早期対応の強化を図り、すべての妊産婦、子育て世帯、子どもへの一体的な支援等を通じて切れ目のない子育て支援を推進していく必要がある。</li> </ul>
施策の総合評価	◎

行政による一次評価を記載しています。  
 指標の達成率は、施策指標の R5 実績見込から算出しています。

**2 二次評価(八尾市総合計画審議会による外部評価)**

前期基本計画の検証	施策の総合評価	一次評価	◎	→	二次評価	◎
<ul style="list-style-type: none"> <li>こども総合支援センター「ほっぷ」は、子ども・子育てに関するあらゆる相談について市全体の窓口として多くの相談を受け止めており、その設置意義は大きい。</li> <li>総合評価については、特に異論がないため、一次評価のとおりとする。</li> </ul>						
<b>第6次総合計画－後期基本計画の策定に向けた提案</b>						
【施策指標について】						
<ul style="list-style-type: none"> <li>各指標がいずれも達成率100%を実現しているが、相談件数が計画値を超えているということは多くの課題があることも示している。相談内容の十分な分析が必要である。</li> <li>児童虐待、発達障がいや育児・しつけなど様々な相談への対応について、相談者の満足度や課題解決の達成度など、次のステップに向けた指標設定を検討することが期待される。</li> </ul>						
【今後検討すべき課題について】						
<ul style="list-style-type: none"> <li>重要課題とされている「こども家庭センター」として強化すべき相談支援体制について、人員体制や相談の仕組み等を強化すべきが整理し、市民に分かりやすい表現とすることが望ましい。</li> </ul>						
【その他】						
<ul style="list-style-type: none"> <li>こども総合支援センター「ほっぷ」については、4か月検診等を活用して子どものいるすべての家庭に周知をされているが、児童・生徒、若者や地域コミュニティなど、あらゆる市民に向けたPRの充実が期待される。</li> </ul>						

上段には、当評価部会による評価結果と評価理由を記載しています。  
 下段には、前期基本計画期間を踏まえての改善点、後期基本計画に向けて検討するべき課題や指標に関する意見を中心に取りまとめ、記載しています。

施策1	切れ目のない子育て支援の推進	施策推進部局	こども若者部 健康福祉部 教育委員会事務局							
めざす暮らしの姿										
<p>1. 妊娠・出産・子育ての支援の充実を図ることにより、妊娠・出産を望むすべての人が、安心して子どもを産み育てられる環境が整っています。</p> <p>2. 保護者が子どもや子育てに関して、身近にいつでも悩みや不安を相談できるところがあり、適切に対応・支援を受けられています。</p> <p>3. 地域全体で子育て家庭を見守り、支援をすることで、家庭環境にかかわらず、すべての子どもの権利が守られ、体罰のない、心身ともに健やかに育つ環境が整っています。</p>										
「めざす暮らしの姿」実現のための施策指標の推移										
指標	単位	基準値	R3 (2021)		R4 (2022)		R5 (2023)		R6 (2024)	
			計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績見込	めざす値	
1	子ども・子育てに関する総合相談件数	件	9,683	10,000	11,687	11,000	13,654	12,000	15,000	12,000
2	地域子育て支援拠点における相談件数	件	2,807	3,000	2,702	3,100	4,574	3,300	4,600	3,400
3	児童虐待の相談件数	件	7,513	7,700	8,766	8,500	9,041	9,300	9,800	9,300

### 1 一次評価(推進部局による内部評価)

指標の達成率	施策の総合評価に関する総括
100.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健師、助産師等による妊娠、出産、子育てに関する様々な相談等に応じ、切れ目のない支援体制を充実するなど、安心して子どもを産み育てる環境整備を行った。</li> <li>こども総合支援センター「ほっぷ」の開設により、複数の分野にまたがる相談や「どこに相談したらよいか分からない」保護者や子どもの相談を受け止め、母子保健や教育分野との連携強化により適切に対応、支援できる体制をつくることができた。また、相談員の配置・相談室等の整備や、親子の交流スペース「あそびのひろば」を設置し、ほっぷの機能強化を行った。</li> </ul>
施策の総合評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童虐待やいじめなどの困難に直面している子どもたちや家庭が抱える複合的な課題に対しては、多職種、多機関が連携して、子ども本人だけでなく家庭全体として根本的な課題を解決につなげる体制が強化されたことで子育て家庭を多機関で支援する環境整備を実現した。</li> <li>令和6年(2024年)4月施行の改正児童福祉法に基づき、母子保健分野と児童福祉分野が一体的に支援等を行うこども家庭センターの設置検討を進め、予防的支援や早期対応の強化を図り、すべての妊産婦、子育て世帯、子どもへの一体的な支援等を通じて切れ目のない子育て支援を推進していく必要がある。</li> </ul>
	

### 2 二次評価(八尾市総合計画審議会による外部評価)

前期基本計画の検証

施策の総合評価

一次評価

◎

➔

二次評価

◎

- こども総合支援センター「ほっぷ」は、子ども・子育てに関するあらゆる相談について市全体の窓口として多くの相談を受け止めており、その設置意義は大きい。
- 総合評価については、特に異論がないため、一次評価のとおりとする。

第6次総合計画－後期基本計画の策定に向けた提案

**【施策指標について】**

- 各指標がいずれも達成率100%を実現しているが、相談件数が計画値を超えているということは多くの課題があることも示している。相談内容の十分な分析が必要である。
- 児童虐待、発達障がいや育児・しつけなど様々な相談への対応について、相談者の満足度や課題解決の達成度など、次のステップに向けた指標設定を検討することが期待される。

**【今後検討すべき課題について】**

- 重要課題とされている「こども家庭センター」として強化すべき相談支援体制について、人員体制や相談の仕組み等を強化すべきか整理し、市民に分かりやすい表現とすることが望ましい。

**【その他】**

- こども総合支援センター「ほっぷ」については、4か月検診等を活用して子どものいるすべての家庭に周知をされているが、児童・生徒、若者や地域コミュニティなど、あらゆる市民に向けたPRの充実が期待される。

施策2	就学前教育・保育の充実	施策推進部局	こども若者部 教育委員会事務局							
めざす暮らしの姿										
<p>1. すべての就学前施設において、質の高い就学前教育・保育の提供により、子どもたちが、認定こども園などでいきいきと過ごしています。</p> <p>2. 多様な就学前教育・保育が提供されることにより、保護者が仕事と生活のバランス(ワーク・ライフ・バランス)を実現するなど、子育てがしやすくなっています。</p> <p>3. 障がいのあるなしにかかわらず、多様な子どもたちが、ともに育ちあう環境ができています。</p>										
「めざす暮らしの姿」実現のための施策指標の推移										
指標	単位	基準値	R3 (2021)		R4 (2022)		R5 (2023)		R6 (2024)	
			計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績見込	めざす値	
1	市内で働く保育士・保育教諭数 (4月1日時点)	人	1,488	1,601	1,625	1,643	1,609	1,692	1,684	1,692
2	認定こども園における幼児教育の取り組みに対する評価を肯定的に回答した保護者の割合	%	92.4	93.5	97.0	94.0	97.2	95.0	95.0	95.0
3	教育・保育入所受入れ枠 (4月1日時点)	人	8,306	8,952	8,725	9,161	8,771	9,314	8,791	9,314
4	障がい児保育(保育サポート枠)の保育施設入所児童数(4月1日時点)	人	194	216	212	218	217	220	222	220

## 1 一次評価(推進部局による内部評価)

指標の達成率	施策の総合評価に関する総括
98.5%	<p>量的側面では、教育・保育枠総数の計画値を達成できていないものの、国整備分(企業主導型保育)の拡大停止や教育から保育ニーズへの転換要因を除けば、積極的な保育枠拡大整備を行い待機児童ゼロも継続的に実現し、懸案である保育枠の充足を順調に進めることができた。</p> <p>とりわけ、新たに0から2歳児の低年齢向けの小規模保育施設整備に取り組み、私立認定こども園・保育所誘致のため公有地の活用も行ったほか、就職フェアの開催をはじめとする各種保育士確保支援策により、市内保育士・保育教諭数も概ね達成し、保育体制の充実につなげた。</p> <p>質向上面では、公民連携を図る中で、公立園の特別支援教育コーディネーターの配置や研修の仕組みが私立園にも広がる中で、保護者からの高い評価にもつながった。保育サポート(障がい児保育)については、低年齢で入所する児童が増える中で、公民連携で児童情報を共有する仕組みを構築し、支援を要する児童を園で早期把握できるようになり、保育サポート入所児童数も計画値を達成した。さらに、医療的ケア児の保育受入れについてガイドラインを策定し、公立園に私立園を加えた受け入れ体制充実を進めることができた。</p>
施策の総合評価	
○	

## 2 二次評価(八尾市総合計画審議会による外部評価)

前期基本計画の検証	<table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="background-color: #f1c232; padding: 2px;">施策の総合評価</td> <td style="padding: 2px;">一次評価</td> <td style="text-align: center; width: 20px;">○</td> </tr> </table> <span style="font-size: 1.5em; color: #0070c0; margin: 0 10px;">➡</span> <table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">二次評価</td> <td style="text-align: center; width: 20px;">○</td> </tr> </table>	施策の総合評価	一次評価	○	二次評価	○
施策の総合評価	一次評価	○				
二次評価	○					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2歳児課税世帯への保育料無償化等、国の制度に上乗せした子育て支援策は評価できる。</li> <li>・ 総合評価については、特に異論がないため、一次評価のとおりとする。</li> </ul>						
第6次総合計画－後期基本計画の策定に向けた提案						
<p><b>【施策指標について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育・保育受入れ枠の拡大を図る中で、保育士・保育教諭数の大きな増加はないながらも必要数を確保できているということは、子どもの数や利用者が減少しているとも捉えられる。共働き世帯の増加等により、幼稚園から保育所へニーズが移行しているのであれば、その状況を捉えられる指標を検討する必要がある。</li> </ul> <p><b>【今後検討すべき課題について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全国的に保育士・保育教諭が不足する中で、保育士確保への支援は非常に重要である。重要課題としている「保育士確保支援のあり方」については、待遇改善等既存の取り組みの充実とともに、さらに多様な方策を検討する必要がある。</li> </ul> <p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ めざす暮らしの姿1の「子どもたちが、認定こども園などでいきいきと過ごしています」について、この施策における「いきいき」の定義を具体的にイメージでき、それらの実現に向けて取り組みが検討されていることが分かるよう、後期基本計画における基本方針や取り組み内容がめざす暮らしの姿と整合した表現とすることが望ましい。</li> </ul>						

施策3	子どもの学びと育ちの充実	施策推進部局	教育委員会事務局 いじめから子どもを守る 政策企画部 建築部
-----	--------------	--------	-----------------------------------

**めざす暮らしの姿**

1. 学びと育ちの連続性と一貫性により、子どもたちが他者とも互いを認め合いながら自立し、自尊感情を高め、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与しています。
2. いじめや不登校などの多様な教育課題の解決に向けてきめ細かな支援ができており、子どもたちが健やかに育っています。
3. すべての子どもが安全に安心して学校生活を過ごすことのできる環境が整っています。
4. 学校・家庭・地域の連携・協働のもと、地域とともにある学校づくりを実践することで、すべての子どもが地域社会全体に見守られながら健やかに育っています。

**「めざす暮らしの姿」実現のための施策指標の推移**

指標	単位	基準値	R3 (2021)		R4 (2022)		R5 (2023)		R6 (2024)	
			計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績見込		
1	将来の夢や目標を持っている児童・生徒の割合	%	73.5	75.0	72.9	76.0	69.8	77.0	71.9	78.0
2	「いじめはどんな理由があってもいけないことだ」と思う児童・生徒の割合	%	96.0	97.0	95.3	98.0	96.1	99.0	95.8	100.0
3	各学校危機管理マニュアルの点検・見直しを実施した学校の割合	%	-	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
4	保護者や地域の人との協働による活動を行った学校の割合	%	76.0	78.0	83.7	79.0	74.4	80.0	86.0	81.0

**1 一次評価(推進部局による内部評価)**

指標の達成率	施策の総合評価に関する総括
97.5%	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 新型コロナウイルス感染症の影響により、学校生活においても様々な制限を受けたが、日々の授業や学校行事において、感染症防止対策を徹底しながら、ICTの活用をはじめ、様々な工夫を行うことで、子どもたちの学びを保障した。</li> <li>▶ 少人数によるきめ細かな指導体制の構築や、ICT支援員の配置充実を含むGIGAスクール構想の推進により、すべての子どもたちの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの実現を図るなど、新しい時代の学びの環境の整備及び学校における働き方改革を推進した。</li> <li>▶ 近年、社会環境が大きく変容し、子どもを取り巻く教育環境も大きく変化している中で、いじめや不登校、虐待、ヤングケアラーなど、多様な教育課題に対応するため、関係機関や外部専門家等と連携や支援体制の充実などにより、きめ細かな支援や対応を行い、子どもたちの健やかな育ちにつなげることができた。</li> <li>▶ 中学校全員給食の実施、コロナ禍における学校給食の無償化、小規模特認校制度及び指定校変更の弾力的な運用の開始など、すべての子どもが安全に安心して過ごすことのできる教育環境の整備を進めた。</li> </ul>
施策の総合評価	
◎	

**2 二次評価(八尾市総合計画審議会による外部評価)**

前期基本計画の検証

施策の総合評価

一次評価

◎

➡

二次評価

◎

- ・ 総合評価については、特に異論がないため、一次評価のとおりとする。  
行政の様々な取り組み内容がめざす暮らしの姿の実現に寄与・貢献するものになっているか、後期基本計画の策定にあたっては、改めて評価・チェックする必要がある。

第6次総合計画－後期基本計画の策定に向けた提案

- 【施策指標について】**
  - ・ すべての指標について、めざす暮らしの姿の進捗度を測ることができる指標として適切かどうか、改めて検討することが必要である。
  - ・ 指標2の計画値について、実績を踏まえた現実的な数値を設定するのか、達成は困難ながらもあるべき姿として100%を設定するのか、必ずしも変更すべきではないが、今一度議論することを期待する。
- 【今後検討すべき課題について】**
  - ・ 重要課題である「学校ICTの推進」は不可欠であるが、学習活動への効果的な活用はもちろん、各家庭の経済的負担への対応やSNS等によるいじめへの対策など、負の側面にも配慮した検討が必要である。
  - ・ 地域社会全体での子どもの見守りについて、フリースクール等新たなテーマについても、情報収集や関係課との連携等を検討することが期待される。
- 【その他】**
  - ・ インフルエンザや新型コロナウイルス感染症等により、学級閉鎖や休校等が避けられない事態が今後も想定される。子どもへのICT機器の普及が進む中、学校と家庭との連携や情報共有のあり方、またその手段についてこれまでの経験を踏まえた検討が必要である。

施策4	子ども・若者の健全育成と支援の推進	施策推進部局	こども若者部 教育委員会事務局							
めざす暮らしの姿										
<p>1. 次代を担う子どもが、多様な体験・活動を行えるように、安全安心な居場所を確保できる環境を整えることで、将来に希望を持ちながら成長しています。</p> <p>2. 子ども・若者の健全育成に関わる主体的な活動を促進することで、すべての子ども・若者が健やかに育っています。</p> <p>3. 子ども・若者がそれぞれに抱えている様々な事情について、相談できる体制が整っており、すべての子ども・若者、家族が安心して暮らしています。</p> <p>4. 子ども・若者が地域に集える居場所があり、社会全体で青少年を見守り、新たな地域の担い手として活躍しています。</p>										
「めざす暮らしの姿」実現のための施策指標の推移										
指標	単位	基準値	R3 (2021)		R4 (2022)		R5 (2023)		R6 (2024)	めざす値
			計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績見込		
1	放課後児童室入室確保数(4月1日時点)	人	3,780	4,000	4,040	4,200	4,080	4,400	4,180	4,600
2	子ども・若者の健全育成に係る事業数	本	341	169	128	230	203	291	262	352
3	若者相談窓口における相談件数	件	-	100	70	140	353	180	676	220
4	青少年健全育成に関する地区住民懇談会の実施地区数	地区	25	29	2	29	8	29	15	29

### 1 一次評価(推進部局による内部評価)

指標の達成率	施策の総合評価に関する総括
84.2%	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 放課後児童室事業では、各年度の入室申込者をすべて受け入れ、待機児童ゼロを実現した。また、条例基準に適合した放課後児童室の運営をめざし、改修、整備を進めるとともに、令和5年度(2023年度)からの保育時間の延長等の新制度の実施に向けた準備を着実に進め、安全安心な居場所を確保できる環境を整備することができた。</li> <li>▶ ひきこもり等の困難を抱える子ども・若者とその家族からの相談に応え、相談内容に合わせたサポートを行うことで、困難を抱える若者等を支え、安心して暮らせる環境づくりに寄与した。</li> <li>▶ 青少年健全育成に係る市民と行政の取り組みを進め、保護者や青少年に携わる育成者への啓発、情報提供を行うことで、青少年健全育成に望ましい社会環境を維持する取り組みを継続することができた。</li> </ul>
施策の総合評価	
○	

### 2 二次評価(八尾市総合計画審議会による外部評価)

前期基本計画の検証

施策の総合評価

一次評価

○

➡

二次評価

○

- ・ めざす暮らしの姿にある「多様な体験・活動を行える安全安心な居場所」や、「子ども・若者が地域に集える居場所」として、放課後児童室、引きこもり等相談窓口、学習支援や子ども食堂等、個々に取り組みが実施されているが、めざす暮らしの姿の実現に向けて、さらなる居場所の充実や他の施策との連携について検討すべきである。
- ・ 居場所のあり方について議論があったが、総合評価については、一次評価のとおりとする。

第6次総合計画－後期基本計画の策定に向けた提案

**【施策指標について】**

- ・ めざす暮らしの姿4にある「子ども・若者が地域に集える居場所」の視点から、子ども食堂をはじめとする居場所づくりの指標化について、検討することが必要である。
- ・ 指標3の若者相談件数の増加要因や相談内容の分析を進め、相談への適切な対応に向けた仕組みや体制の検討等、次の展開を測る指標の設定が望ましい。

**【今後検討すべき課題について】**

- ・ 重要課題に「すべての子ども・若者が自らの居場所を得て」とあるが、子どもにとって望ましい居場所は多様である。既存の居場所以外にも、色々な場所で展開すること意識し、場所を限定しすぎないことが望ましい。

**【その他】**

- ・ 子ども・若者の抱える課題は、引きこもり等顕在化しているものから、LGBTQ等の当事者が相談しづらいものまで、多岐にわたる。相談窓口等行政の取り組みを広く発信するとともに、課題を抱える子ども・若者を相談窓口へつなげるためのアウトリーチによる取り組みを検討することが期待される。

施策5	やおプロモーションの推進	施策推進部局	政策企画部 魅力創造部 教育委員会事務局							
めざす暮らしの姿										
<p>1. 八尾のイメージのブランド化が進み、その魅力が市内外へ届くことにより市外には八尾に興味・関心を持ち、応援する人が増えており、八尾に移り住む人も増えています。</p> <p>2. 誇りと愛着を持ちながら八尾に住み続ける人が増えています。</p> <p>3. ものづくりをはじめ、歴史・文化等の八尾の様々な魅力に触れる観光客でまちがにぎわい、地域経済が活性化し、市民・地域・企業等の活動・活躍が活発になり地域が活気であふれています。</p>										
「めざす暮らしの姿」実現のための施策指標の推移										
指標	単位	基準値	R3 (2021)		R4 (2022)		R5 (2023)		R6 (2024)	
			計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績見込	めざす値	
1	八尾の魅力を友人や知り合いに推奨する気持ち強い市民の割合	%	13.6	14.0	10.8	15.0	16.0	16.0	16.0	17.0
2	住み続けたいと感じる市民の割合	%	80.5	83.0	70.2	84.0	70.6	85.0	71.0	86.0
3	八尾をより良くするための活動に関わりたい気持ち強い市民の割合	%	10.7	11.0	8.0	12.0	9.7	13.0	11.4	14.0

### 1 一次評価(推進部局による内部評価)

指標の達成率	施策の総合評価に関する総括
90.4%	<p>▶ 「八尾の魅力を友人や知り合いに推奨する気持ち強い市民の割合」は計画値を上回り、2025年大阪・関西万博に向けて80アクションの推進、空飛ぶクルマの理解を深める取り組み等、八尾の魅力を高める取り組みの成果が表れ始めている。また「映画のまち・やお」の実現に向けた取り組みや、観光アンバサダーの創設など、八尾が誇るべき地域資源の魅力を効果的に発信している。</p> <p>▶ 計画未達成の項目は、コロナ禍により様々な社会活動が停滞したことの影響が考えられるが、コロナ禍からの日常生活の正常化に伴い、市民参画による事業も再開されてきたことで、実績値は確実に向上している。また、テレワーク等の新しい生活様式が普及・発展することによって、市民の意識に変化が生じている影響があることから、住み続けたいまちとしての魅力を引き続き高め続ける必要がある。</p>
施策の総合評価	
○	

### 2 二次評価(八尾市総合計画審議会による外部評価)

前期基本計画の検証

施策の総合評価

一次評価

○

➡

二次評価

○

- ・ 八尾のイメージのブランド化に向け、やお観光創造アンバサダー等による市外への新たな発信は、その効果も含め今後のさらなる展開が期待される。
- ・ 総合評価については、特に異論がないため、一次評価のとおりとする。

第6次総合計画－後期基本計画の策定に向けた提案

**【施策指標について】**

- ・ めざす暮らしの姿1や3にある、八尾に興味・関心を持つ関係人口や観光客数を測る指標が設定されていない。指標の設定やその定義について検討するとともに、市独自で来訪者数や観光客数を把握するための仕組みを検討することが期待される。
- ・ 短期間で指標を入れ換えるのではなく、めざす暮らしの姿の進捗度を適切に測定できる指標を追加する方向で検討することが必要である。
- ・ 指標の推移を分析するには、市内の状況だけでなく周辺市等の動向も踏まえた分析が望ましい。

**【今後検討すべき課題について】**

- ・ 重要課題にある通り、2025年大阪・関西万博の開催はあくまでもきっかけであり、万博終了後の波及効果やそのレガシーの活用など、その後の課題に対する取り組みについて検討することが必要である。
- ・ 八尾市が万博に参加する意義やその効果について、市民に十分に伝わっていない可能性がある。八尾市と万博のつながりをストーリー化してプロモーション活動を行う等、今後の取り組みが期待される。

**【その他】**

- ・ 市民の感じている八尾のイメージと、市外から見た八尾のイメージにどのようなギャップがあるのか、またギャップが生じる要因も含めて分析し、八尾のイメージの転換につながる取り組みの検討が期待される。

施策6	歴史資産などの保全・活用・発信	施策推進部	魅力創造部							
めざす暮らしの姿										
<p>1. 地域住民との協働等による歴史資産等の保全・活用の取り組みが広がり、貴重な文化財が受け継がれています。</p> <p>2. 生涯学習や学校教育等の様々な機会を通じて、国史跡等の八尾の歴史資産に触れることができ、市民が郷土に誇りを感じています。</p> <p>3. 歴史資産や文化財施設の情報を身近に得ることができ、観光と連携した取り組みが進むことにより来訪者が増え、八尾の歴史資産等の魅力が市内外に広く知られています。</p>										
「めざす暮らしの姿」実現のための施策指標の推移										
指標	単位	基準値	R3 (2021)		R4 (2022)		R5 (2023)		R6 (2024)	
			計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績見込	めざす値	
1	ボランティア活動への参加人数	人	345	350	188	350	426	350	400	350
2	指定文化財等の件数	件	121	124	127	126	129	128	130	130
3	文化財情報の発信件数	件	46	46	52	48	50	50	50	52

### 1 一次評価(推進部局による内部評価)

指標の達成率	施策の総合評価に関する総括
100.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 八尾市文化財保存活用地域計画を策定し、文化庁の認定を受けることができた。さらに、地域計画で定めた基本方針に基づいて、計画を推進するための措置について具体性をもった事業を検討し、推進していく必要がある。</li> <li>▶ 国史跡の追加指定や史跡ボランティア活動の継続によって、市民との協働等による史跡の保全・活用の取り組みが広がっている。今後、整備基本計画を策定した史跡由義寺の整備により、市民の生涯学習や郷土の歴史教育の場を提供するとともに、他市の人びとにも八尾の魅力ある歴史資産に触れる場となるようにする必要がある。引き続き、歴史資産や文化財施設の情報を身近に得ることができるよう、情報発信に努めるとともに、観光と連携した取り組みを進める必要がある。</li> </ul>
施策の総合評価	◎

### 2 二次評価(八尾市総合計画審議会による外部評価)

前期基本計画の検証

施策の総合評価

一次評価

◎

➡

二次評価

◎

!

・ めざす暮らしの姿はすべて人の意識や状態を表しているが、各指標は文化財の数や参加人数等コンテンツの量を計測しており、既存指標及び総括内容だけで、めざす暮らしの姿が概ね実現したと評価することは難しい。

・ 各指標について議論があったが、総合評価については、一次評価のとおりとする。

第6次総合計画－後期基本計画の策定に向けた提案

**【施策指標について】**

- ・ めざす暮らしの姿はすべて人の意識や状態を表しているが、既存の指標だけでその進捗状況を評価することは難しい。文化財等の数を測るだけでなく、市民の歴史文化や文化財に対する意識を測る等、「人の視点」の指標を設定することが必要である。例えば、小・中学生に対して、「文化財の〇〇を知っているか」といったアンケート等により認知度を把握し、今後の展開の参考とすることが考えられる。
- ・ 歴史資産の保全だけでなく、「活用」の取り組み状況を測る指標を検討することが必要である。

**【今後検討すべき課題について】**

- ・ 社会情勢の変化の中で、文化財の滅失や散逸等を緊急の課題とするならば、その対応となる重要課題としては、ハード面の整備だけでなく、地域で歴史や文化の保存・活用に取り組む体制づくりを検討する等、市民協働の視点での文化財の保存・活用について検討することが期待される。

**【その他】**

- ・ 特に意見なし。

施策7	みどり豊かな潤いのある暮らし	施策推進部局	魅力創造部 環境部
-----	----------------	--------	-----------

**めざす暮らしの姿**

1. 都市近郊の身近な里山である高安山の自然が適切に保全されています。
2. 観光と連携した取り組みにより、高安山の自然や歴史資産に親しむ市民や来訪者が増えています。
3. 景観形成と連携し、玉串川や長瀬川沿道等がみどりの豊かさや潤いを感じられる魅力的な空間として市民に広く知られ、親しまれています。
4. 市民・企業・行政が連携し、みどりの保全、創出、育成に取り組み、潤いややすらぎのある暮らしができています。

**「めざす暮らしの姿」実現のための施策指標の推移**

指標	単位	基準値	R3 (2021)		R4 (2022)		R5 (2023)		R6 (2024)
			計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績見込	めざす値
1	里山保全に関する活動回数	回	36	32	36	34	36	36	36
2	八尾市内に自然環境が多く残っていると思う市民の割合	%	56.7	57.0	57.0	55.6	57.0	57.0	57.0
3	高安山を活用したイベントの参加者数	人	645	0	645	29	645	35	645
4	桜の植樹本数	本	128	170	180	186	200	205	220
5	グリーンボックス貸出及び街かど緑化の申請回数	回	143	130	140	140	140	145	140

**1 一次評価(推進部局による内部評価)**

指標の達成率	施策の総合評価に関する総括
81.1%	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 新型コロナウイルス感染症の影響により、高安山を活用したイベントの中止が続いたため、市民や来訪者の増加は見込めなかったが、各種保全活動により、高安山の自然が保全されている。また、玉串川や長瀬川沿いの桜を計画的に植え替えることにより、植えた桜が育ち、将来の景観形成とみどりの豊かさや潤いを感じられる魅力的な空間として市民に広く知られ、親しまれている。</li> </ul>
施策の総合評価	
○	

**2 二次評価(八尾市総合計画審議会による外部評価)**

前期基本計画の検証

施策の総合評価

→

一次評価

○

→

二次評価

○

- ・ 総合評価については、特に異論がないため、一次評価のとおりとする。

第6次総合計画－後期基本計画の策定に向けた提案

**【施策指標について】**

- ・ めざす暮らしの姿3に「玉串川や長瀬川沿道等がみどりの豊かさや潤いを感じられる魅力的な空間」として、具体的なエリアを設定しているが、それに対する市民の受け止め状況は、指標2の市内の自然環境への評価を活用して把握している。対象エリアの評価を把握する方法を検討する必要がある。
- ・ 指標3「高安山を活用したイベントの参加者数」とは、複数のイベントに参加した方の合計人数となっているが、指標名やその推移の分析からは判断することができない。指標の増減要因を分析するため、その内訳を把握するとともに、指標名を変更する等、市民にとって分かりやすい表現となるよう工夫が必要である。

**【今後検討すべき課題について】**

- ・ 重要課題に「森林保全活動を活性化するためには、さらなる担い手が必要」とあり、地域内外からのボランティアが求められていると考えられる。既存指標である活動回数だけでは、その課題に対する取り組み状況が把握できないことから、課題に対してどのような取り組みが考えられ、その進捗をどのように測るのか、めざす暮らしの姿や重要課題と各指標との整合を図ることが期待される。

**【その他】**

- ・ 特に意見なし。

施策8	芸術文化の魅力を活かした豊かなまちづくり	施策推進部局	魅力創造部							
めざす暮らしの姿										
1. 市民の芸術文化活動が盛んに行われています。 2. 身近に芸術文化に触れることができる機会があります。 3. 街中に芸術文化があふれていて八尾の魅力を感じることができます。 4. 芸術文化の力で子どもたちの笑顔が輝いています。										
「めざす暮らしの姿」実現のための施策指標の推移										
指標	単位	基準値	R3 (2021)		R4 (2022)		R5 (2023)		R6 (2024)	
			計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績見込	めざす値	
1	文化会館の大ホール及び小ホールの稼働率	%	75.2	-	-	75.0	69.0	75.3	63.6	75.5
2	文化会館指定管理者が実施する事業の入場者数	人	15,617	10,000	10,821	16,000	33,805	20,000	22,680	22,000
3	日常生活において音楽、映画、演劇、美術などの芸術文化に親しんで心の豊かさを感じる時がある市民の割合	%	64.3	69.5	63.0	70.0	61.9	71.0	64.3	72.0
4	八尾らしさを魅力を活かした事業の数	本	12	12	15	13	15	14	18	15
5	中学生以下対象の芸術文化に関するイベント参加者数	人	12,034	10,000	8,784	12,000	14,633	12,500	10,716	13,000

### 1 一次評価(推進部局による内部評価)

指標の達成率	施策の総合評価に関する総括
92.2%	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 新型コロナウイルス感染症の影響で公演等の自粛により稼働率が低下し、大ホールについては回復傾向が未だ見られないものの、自粛解除に伴い、芸術文化振興事業を着実に実施することで、他の指標については良化していくものと見込んでいる。</li> <li>▶ 本市では文化会館をはじめ、鑑賞や検索・発表活動の拠点となる様々な場所が存在し、それぞれの場所で芸術活動が行われている。しかし、個人のアーティストや個々の活動拠点だけでは、活動の幅や情報の発信に限界があり、市全体としての動きにはつながっていないのが実情である。</li> <li>▶ 今後は、芸術文化により人・場所・活動がつながっていく芸術文化活動の有機的なネットワーク「やおうえるかむコモンズ」を形成することで、形成主体が互いに協力し合い、八尾の芸術文化を活性化させる取り組みを進める必要がある。</li> </ul>
施策の総合評価	
○	

### 2 二次評価(八尾市総合計画審議会による外部評価)

前期基本計画の検証

施策の総合評価

一次評価

○

➡

二次評価

○

- ・「プリズム・アート&シアター・プロジェクト」など、リニューアルオープンした八尾市文化会館を中心とした芸術文化に関する市民参加の企画が展開されていることは評価できる。
- ・総合評価については、特に異論がないため、一次評価のとおりとする。

第6次総合計画－後期基本計画の策定に向けた提案

**【施策指標について】**

- ・指標3については、個人の嗜好に関わるものであり、文化行政の進捗を測る指標とは異なる印象を受ける。めざす暮らしの姿3「街中に芸術文化があふれていて八尾の魅力を感じることができます。」の進捗状況を把握するのであれば、「イベント等の機会が多いと感じる」といった市民の意識を測る指標を検討することが望ましい。

**【今後検討すべき課題について】**

- ・社会情勢にある通り、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、学校における子どもの芸術文化活動の減少が挙げられているが、日常生活で芸術文化に親しむ機会のない子どもにとっては、教育の中で機会の創出を図ることも重要な役割である。教育委員会との連携により、芸術文化を教育に取り入れることを重要課題として明確に示し、取り組みを検討することが必要である。

**【その他】**

- ・作品展示の募集等、芸術文化活動への市民参加について十分に周知されていないと感じる。駅や商業施設など人の集まる場所での周知等、より多くの市民が参加できる工夫が期待される。

施策9	地域経済を支える産業の振興	施策推進部局	魅力創造部
-----	---------------	--------	-------

1. 地域内のつながりによる新たな取り組みへのチャレンジ意欲とその取り組みを応援する機運醸成により、イノベーションエコシステムが構築され、八尾の好循環につながっています。
2. 操業環境等の整備と企業集積の維持が図られ、活発な産業活動により、職住近在のまちづくりが進んでいます。
3. 先輩企業家が次世代の企業家の成長を支えることで人が集まり、にぎわいが持続するまちとなっています。
4. 個性豊かな商店やオープンファクトリーが増え、地域内外から八尾の応援者や、関係人口の増加とともに、八尾の産業が全国から注目されています。
5. 特産物の認知度が上がり、農業者、市民が誇りをもって、生産し賞味され、都市における農地の多様な機能が市民に理解されるとともに、効率的な農作業の確保と合わせて八尾のブランド力が市内外に定着しています。

「めざす暮らしの姿」実現のための施策指標の推移

指標	単位	基準値	R3 (2021)		R4 (2022)		R5 (2023)		R6 (2024)	
			計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績見込	めざす値	
1	中小企業におけるイノベーション実践数	事業	55	63	689	63	121	63	126	63
2	立地制度活用による工場立地件数	件	9	10	11	10	7	10	10	10
3	次世代企業家育成において市内企業がメンター役を担う割合	%	—	50.0	60.9	50.0	48.3	50.0	64.3	50.0
4	産業分野にかかわる関係人口の対基準年度比率	%	100.0	110.0	56.0	115.0	132.1	120.0	148.9	125.0
5	産直便等事業者を含む直売所数	か所	15	15	16	16	16	17	16	18

1 一次評価(推進部局による内部評価)

指標の達成率	施策の総合評価に関する総括
98.8%	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 意欲ある事業者経営・技術支援補助金の交付及びデザインイノベーション推進事業により、新事業展開にチャレンジする事業の支援及び環境の提供につながった。</li> <li>▶ イノベーション推進拠点である「みせるばやお」の活動の推進及び「まちのコイン」の活用により、関係人口の増加につながった。</li> <li>▶ ものづくり集積促進奨励金制度の運用及び国家戦略特別区域活用による緑地面積率等の範囲の緩和により、操業環境等の整備と企業集積の維持が図られた。</li> <li>▶ あきんど起業塾、環山楼塾等を行うことで、先輩企業家が次世代の成長を支え、育った世代がさらに次の世代の成長を支える循環が根付いてきている。</li> </ul>
施策の総合評価	
	

2 二次評価(八尾市総合計画審議会による外部評価)

前期基本計画の検証

施策の総合評価

一次評価

◎

➡

二次評価

◎

!

- ・ 産業分野は八尾の強みの一つであり、「みせるばやお」や「まちのコイン」など観光資源になり得る先進的な取り組みが展開されている。
- ・ 各指標の可否について議論があったが、総合評価については、一次評価のとおりとする。

第6次総合計画－後期基本計画の策定に向けた提案

**【施策指標について】**

- ・ 既存の指標だけでめざす暮らしの姿の進捗状況を評価することが難しく、各指標が適切なのか改めて検討する必要がある。
- ・ 指標4の産業分野における関係人口について、「みせるばやお」の来場者数だけで関係人口が増加したと分析しているが、この分野における関係人口の定義をした上で、指標を設定することが望ましい。

**【今後検討すべき課題について】**

- ・ 八尾の産業には多くのポテンシャルがあり、市外へ発信できる観光資源にもなり得る。産業自体が観光資源となり、多くの人を集めるための取り組み等、八尾の産業をより追及する視点での展開が期待される。
- ・ 社会情勢の変化も捉えながら、今後検討すべき課題を整理し、市民にとって分かりやすく表現することが必要である。

**【その他】**

- ・ 企業集積維持のための奨励金や規制緩和等、八尾市内の産業活動を活性化するための様々な取り組みについて、市内外の企業にしっかり伝わるよう、施策展開の認知度を向上するためのPRを強化することが期待される。

施策10	就労支援と雇用機会の創出	施策推進部局	魅力創造部							
めざす暮らしの姿										
<p>1. 働く意欲・希望のあるすべての市民が多様な働き方で就労を実現しています。</p> <p>2. ダイバーシティ経営と働き方改革の推進により、企業における人材確保や定着が進み、すべての市民がワーク・ライフ・バランスのとれた充実した生活を送っています。</p>										
「めざす暮らしの姿」実現のための施策指標の推移										
指標	単位	基準値	R3 (2021)		R4 (2022)		R5 (2023)		R6 (2024)	
			計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績見込	めざす値	
1	地域就労支援センターにおける相談者の雇用達成の割合	%	44.1	33.0	26.9	35.0	26.7	37.0	22.9	40.0
2	参加したセミナー等の内容が参考になった企業の割合	%	92.7	90.0	90.9	90.0	95.2	90.0	90.0	90.0

### 1 一次評価(推進部局による内部評価)

指標の達成率	施策の総合評価に関する総括
80.9%	<p>▶ 指標の達成率については、新型コロナウイルス感染症の長期化の影響により、雇用環境にも改善が見られない中、就労困難者の就職は引き続き厳しい状況であったことから雇用達成率に影響があったと考えられる。一方で、前期基本計画期間において「第3次八尾市地域就労支援基本計画」を策定し、就労困難者等への支援として新たに企業開拓員を配置し取り組みを進めるとともに、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金等を活用した雇用促進・定着支援金事業や各種面接会等を開催するなど事業を着実に進めた。</p>
施策の総合評価	
○	

### 2 二次評価(八尾市総合計画審議会による外部評価)

前期基本計画の検証

施策の総合評価

一次評価

○

➡

二次評価

○

・ 総合評価については、特に異論がないため、一次評価のとおりとする。

第6次総合計画－後期基本計画の策定に向けた提案

【施策指標について】

- 指標2のセミナー等の内容が参考になった企業の割合だけでなく、セミナー参加者への支援等今後の展開を検討するためには、セミナーに参加した企業がその後どのような活動を進めたのかを把握することが望ましい。

【今後検討すべき課題について】

- めざす暮らしの姿2の「すべての市民がワーク・ライフ・バランスのとれた充実した生活」について、人権問題への啓発や補助金の交付といった取り組みが市民生活にどれだけ効果があったのか、その成果が分かりづらい。様々な取り組みが、めざす暮らしの姿の実現に対して貢献するものとなっているか、後期基本計画の策定にあたり改めて検討することが必要である。

【その他】

- 特に意見なし。

施策11	消費者教育の推進と消費生活相談体制の充実	施策推進部局	魅力創造部							
めざす暮らしの姿										
<p>1. 市民が最新の消費生活問題に関する情報を得ることにより、身につけた知識を活用して消費者トラブルを未然に回避することができています。トラブルに直面した場合も、市民が主体的に問題を解決できるようになっています。</p> <p>2. 消費生活相談員の相談対応力が向上することにより、様々な消費者トラブルや悪質商法に対して、市民が適切な助言・支援を受けています。</p> <p>3. 消費者教育がさらに推進され、持続可能な社会の実現に向けて、当事者としての自覚と思いやりを兼ね備えた市民が、自立して行動しています。</p>										
「めざす暮らしの姿」実現のための施策指標の推移										
指標	単位	基準値	R3 (2021)		R4 (2022)		R5 (2023)		R6 (2024)	
			計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績見込	めざす値	
1	消費者教育講座等における理解度	%	-	100.0	98.3	100.0	96.9	98.0	98.0	98.0
2	消費生活相談の解決率	%	98.0	100.0	98.6	100.0	98.6	98.0	98.0	98.0
3	エシカル消費に関する講座の受講者数	人	-	40	0	80	45	100	88	100

### 1 一次評価(推進部局による内部評価)

指標の達成率	施策の総合評価に関する総括
96.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大時期において、出前講座や消費者教育講座等の開催中止や規模縮小を行ったため、特殊詐欺や悪質商法等の消費者トラブルに関する啓発並びに食品ロス削減や地産地消等のエシカル消費に関する啓発が一部滞った。</li> <li>▶ 消費生活相談員について、国民生活センター等が実施する研修への参加を推進し、相談対応力の向上を図った。</li> </ul>
施策の総合評価	
○	

### 2 二次評価(八尾市総合計画審議会による外部評価)

前期基本計画の検証

施策の総合評価

一次評価

○

➡

二次評価

○

・ 総合評価については、特に異論がないため、一次評価のとおりとする。

第6次総合計画－後期基本計画の策定に向けた提案

**【施策指標について】**

- ・ 指標1及び指標2の計画値について、R5年度以降計画値を下方修正している。実績を踏まえた現実的な数値を設定するのか、達成は困難ながらもあるべき姿として理想的な値を設定するのか、必ずしも変更すべきではないが、今一度議論することを期待する。
- ・ 指標1の理解度や指標2の解決率については、参加者数や相談件数等、実際の件数の推移も把握したうえで、進捗分析を行い、今後の展開を検討することが必要である。

**【今後検討すべき課題について】**

- ・ めざす暮らしの姿3の「市民が自立して行動」について、講座等の実施により市民に対してどれだけ行動変容が生じたのかが把握できていない。様々な取り組みが、めざす暮らしの姿の実現に対して貢献するものとなっているか、後期基本計画の策定にあたり改めて検討することが必要である。

**【その他】**

- ・ 特に意見なし。

施策12	住みたい・住み続けたい良質な住まいづくり	施策推進部局	建築部
------	----------------------	--------	-----

**めざす暮らしの姿**

1. 良質な住まいづくりにより、若者や新婚子育て世帯等の定住が進み、活気があふれるまちになっています。
2. 耐震性向上など住環境に配慮された住宅が普及することにより、良質な住まいづくりが進んでいます。
3. 住宅確保要配慮者が住まいを確保できています。
4. 市営住宅の適切な維持管理・機能更新や、入居者、地域団体、関係機関等との連携により、入居者が安全・安心に生活しています。

**「めざす暮らしの姿」実現のための施策指標の推移**

指標	単位	基準値	R3 (2021)		R4 (2022)		R5 (2023)		R6 (2024)	
			計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績見込	めざす値	
1	中古住宅利活用等の件数	件	-	40	10	40	15	40	15	40
2	民間住宅の耐震化率	%	80.0	83.0	87.4	87.0	88.0	88.0	88.7	89.0
3	セーフティネット住宅登録戸数	戸	567	1,510	1,557	1,520	1,624	1,530	1,642	1,540
4	市営住宅のバリアフリー化率	%	37.17	42.0	37.33	42.0	37.33	42.0	37.33	43.0

**1 一次評価(推進部局による内部評価)**

指標の達成率	施策の総合評価に関する総括
81.6%	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 中古住宅利活用等の補助制度については、市外に居住する若者や新婚、子育て世帯に対しての周知が難しく、申請件数について今年度の計画値を達成することは難しいが、補助対象の拡大や電子申請の導入などで制度を利用しやすいような変更を検討しており、次年度以降、申請件数が増えることが期待できる。</li> <li>▶ 八尾市営住宅機能更新事業計画に基づき、耐震補強工事や長寿命化型改善を実施し、住宅の維持管理及び機能更新を行った。指標であるバリアフリー化率についても、現時点ではめざす値を達成できていないが、計画的に建替事業や用途廃止を進めており、事業完了後には達成できる見込みである。</li> </ul>
施策の総合評価	
○	

**2 二次評価(八尾市総合計画審議会による外部評価)**

前期基本計画の検証

施策の総合評価

一次評価

○

➡

二次評価

○

・ 総合評価については、特に異論がないため、一次評価のとおりとする。

第6次総合計画－後期基本計画の策定に向けた提案

**【施策指標について】**

- ・ めざす暮らしの姿1の「活気があふれるまちになっている」について、この進捗状況を測るには中古住宅の利活用件数だけでなく、住宅に関する市民の受け止め方を測る指標の追加が望ましい。
- ・ 指標4「市営住宅のバリアフリー化率」では、大規模な改修のみを対象としているが、個別のきめ細かな修繕対応についても評価できる指標の検討が期待される。

**【今後検討すべき課題について】**

- ・ 重要課題の住宅改修等の市民への情報提供について、より多くの市民に伝わる手法を検討することが期待される。

**【その他】**

- ・ 市内の空き家の動向等を踏まえ、空き家の利活用の促進とともに、除去の支援や代執行など次の手立てについても、検討・研究することが必要である。

施策13	快適な交通ネットワークの充実	施策推進部局	都市整備部
------	----------------	--------	-------

**めざす暮らしの姿**

- 一人ひとりの目的や状況に応じ、様々な移動手段を選択でき、誰もが円滑に移動できるまちになっています。
- 適正な自転車利用と道路環境の充実により、快適に自転車で移動することができるまちになっています。
- 交通ルールの遵守やマナーの向上等により、交通事故が減っています。

**「めざす暮らしの姿」実現のための施策指標の推移**

指標	単位	基準値	R3 (2021)		R4 (2022)		R5 (2023)		R6 (2024)	
			計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績見込	めざす値	
1	交通不便地の解消エリア数	地域	-	3	1	5	6	7	6	7
2	自転車駐車場利用率	%	85.3	87.0	71.5	88.0	74.5	89.0	75.1	90.0
3	交通安全教室実施回数	回	100	100	108	100	111	100	111	100
4	市内の交通事故件数	件	712	690	644	680	650	670	542	660

**1 一次評価(推進部局による内部評価)**

指標の達成率	施策の総合評価に関する総括
92.5%	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 八尾市乗合タクシーやシェアサイクル等、新たな移動手段を構築し、誰もが円滑に移動できるまちづくりを進めた。</li> <li>▶ 自転車駐車場の利用率については、新型コロナウイルス感染症の影響もあり計画値を下回ったものの、放置自転車数も減少していることから適正な自転車駐車場の利用が図られた。</li> <li>▶ 交通安全対策については、新型コロナウイルス感染症による外出自粛の影響や感染拡大防止対策を施し小学校や未就学施設において交通安全教室を継続して実施するとともに、非接触型の新たな啓発に取り組んだ結果、交通事故件数は計画値を下回った。</li> </ul>
施策の総合評価	◎

**2 二次評価(八尾市総合計画審議会による外部評価)**

前期基本計画の検証	<table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="background-color: #f1c232; padding: 2px;">施策の総合評価</td> <td style="padding: 2px;">一次評価</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;">◎</td> </tr> </table> <span style="font-size: 2em; color: #0070c0; margin: 0 10px;">➡</span> <table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="background-color: #f1c232; padding: 2px;">二次評価</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;">◎</td> </tr> </table>	施策の総合評価	一次評価	◎	二次評価	◎
施策の総合評価	一次評価	◎				
二次評価	◎					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交通マップやおでかけ支援バス等、市民の円滑な移動を支援する様々な取り組みは評価できるが、市民への周知手法を検討する必要がある。</li> <li>・ 総合評価については、特に異論がないため、一次評価のとおりとする。</li> </ul>						
<b>第6次総合計画－後期基本計画の策定に向けた提案</b>						
<p><b>【施策指標について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指標1の計画値の検討にあたり、将来的な公共交通路線の廃止や縮小に伴う対象地域の増加についても、その可能性を検討しておくことが望ましい。</li> </ul> <p><b>【今後検討すべき課題について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 八尾市がめざす「移動しやすいまちづくり」の将来ビジョンを分かりやすく見える化していく必要がある。</li> <li>・ 放置自転車対策については、既存の取り組みに加え他市の先進事例等も参考にした検討が期待される。</li> <li>・ 社会情勢にあるいわゆる2024年問題も踏まえ、ライドシェアの検討や買い物難民への支援等、多様な視点で施策展開を検討することが期待される。</li> </ul> <p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 見通しの悪い道路へのカーブミラーの設置やスクランブル交差点における安全対策等、市民目線で感じる危険な箇所や行為等について、関係機関で連携しながら効果的に把握する仕組みの検討が期待される。</li> </ul>						

施策14	魅力ある都市づくりの推進	施策推進部局	都市整備部 政策企画部
------	--------------	--------	-------------

1. 主要駅周辺がにぎわい、それらが交通ネットワークでつながり、人や企業が活気にあふれるまちになっています。
2. 計画的な道路整備や土地利用により交通渋滞が緩和され、防災力が向上するとともに、産業集積の維持発展と暮らしやすさが共存したまちとなっています。
3. 魅力ある都市景観が形成され、多くの人に選ばれるまちとなっています。

「めざす暮らしの姿」実現のための施策指標の推移

指標	単位	基準値	R3 (2021)		R4 (2022)		R5 (2023)		R6 (2024)	
			計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績見込	めざす値	
1	主要駅周辺のまちづくりに資する関係者協議	回	27	25	27	25	26	25	25	25
2	地域が考えている方向でまちの整備が進んでいると思う市民の割合	%	29.3	28.5	29.8	29.0	28.1	29.5	29.5	30.0
3	都市計画道路の整備率	%	55.2	55.5	55.5	55.7	55.7	55.9	55.9	56.2
4	景観計画に基づく届出件数	件	8	15	22	15	23	15	17	15
5	うらおいと魅力ある景観づくりがなされていると感じる市民の割合	%	60.7	61.0	62.7	61.3	63.3	61.7	61.7	62.0

1 一次評価(推進部局による内部評価)

指標の達成率	施策の総合評価に関する総括
100.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 河内山本駅踏切の歩道部の拡幅・改良工事を実施した事により、踏切部の安全性が格段に向上した。事業中の都市計画道路については、用地取得などを行い、着実に整備を進めている。</li> <li>▶ 服部川・郡川地区においては、民間活力による土地利用が図られ、雇用やにぎわいが創出された。</li> <li>▶ 八尾空港西側跡地は、都市計画手法等の活用によるにぎわいの創出の検討を進めた。産業集積の維持発展のために、魅力創造部と連携し、都市計画手法等を活用したまちづくりの検討を進めた。</li> <li>▶ 久宝寺寺内町において、景観整備と景観資源登録を行い、魅力ある景観形成の発信ができた。</li> </ul>
施策の総合評価	
◎	

2 二次評価(八尾市総合計画審議会による外部評価)

前期基本計画の検証	施策の総合評価	一次評価	◎	→	二次評価	◎	!
-----------	---------	------	---	---	------	---	---

・ 総合評価については、特に異論がないため、一次評価のとおりとする。

**第6次総合計画－後期基本計画の策定に向けた提案**

【施策指標について】

- ・ めざす暮らしの姿2の「交通渋滞が緩和され、防災力が向上する」については、既存の指標だけで進捗状況の評価することは難しい。ハード面・ソフト面両方の視点から「防災力の向上」の意味を定義し、評価できる適切な指標の追加を検討することが望ましい。
- ・ 指標2「地域が考えている方向でまちの整備が進んでいると思う市民の割合」は、実績値が上がらない要因分析を行うとともに、計画値の設定が適切かどうか今一度議論することを期待する。

【今後検討すべき課題について】

- ・ 特に意見なし。

【その他】

- ・ 八尾南駅周辺のまちの活性化につながる八尾空港西側跡地の活用に向けた取り組みについて、計画的なまちづくりを進めるとともに、市民への速やかな情報発信や地域ニーズの把握等が期待される。

施策15	都市基盤施設の整備と維持	施策推進部局	都市整備部 下水道部
------	--------------	--------	------------

1. 道路、橋梁、河川、公園、下水道等の都市基盤施設が適切に維持管理されることにより、これらの施設が健全に保たれ、市民が安全に安心して暮らせるまちとなっています。
2. 交通安全対策や道路改良により、すべての市民が生活道路を安全・快適に通行できています。
3. 河川、下水道、流域対策等による総合的な治水対策により、水害や土砂災害の防止・軽減を図ることができています。
4. 地域住民に親しまれ、愛される公園が整備され、多くの人が活発に利用しています。
5. 景観に配慮した整備により、多くの人が魅力を感じ快適に暮らせるまちとなっています。

「めざす暮らしの姿」実現のための施策指標の推移

指標	単位	基準値	R3 (2021)		R4 (2022)		R5 (2023)		R6 (2024)	
			計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績見込	めざす値	
1	橋梁の修繕工事の整備率	%	-	21.7	28.3	30.4	32.6	39.1	39.1	45.6
2	公共下水道事業会計の経常収益対経常費用比率	%	105.5	100.0	105.4	100.0	106.9	100.0	101.8	100.0
3	市道で発生した交通事故件数	件	401	390	364	385	360	380	358	375
4	寝屋川流域水害対策計画の貯留量達成率	%	75.6	77.1	78.3	77.8	79.5	78.3	80.5	78.8
5	一人当たりの都市公園面積	m <sup>2</sup>	2.84	2.96	3.00	3.03	3.01	3.09	3.02	3.15
6	玉串川護岸整備事業の整備率	%	-	0.9	0.5	15.0	7.0	29.2	21.1	43.3

1 一次評価(推進部局による内部評価)

指標の達成率	施策の総合評価に関する総括
95.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 施策成果指標については、概ねの指標で計画値を達成し、めざす暮らしの姿の実現に向けた成果を得ることができた。</li> <li>▶ 玉串川護岸整備事業については、事業主体である大阪府が新型コロナウイルス感染症の影響等を受け、予算確保が困難となったため、目標整備率を達成できなかった。</li> </ul>
施策の総合評価	
◎	

2 二次評価(八尾市総合計画審議会による外部評価)

前期基本計画の検証

施策の総合評価

一次評価

◎

➡

二次評価

◎

!

・ 指標について議論があったが、総合評価については、一次評価のとおりとする。

第6次総合計画－後期基本計画の策定に向けた提案

【施策指標について】

- ・ 各指標は計測が容易で、市が進捗を管理しやすいものだが、今後はハード面の整備状況とともに、安心や快適さといった市民の受け止め方もあわせて把握することが望ましい。
- ・ 指標5「一人当たりの都市公園面積」のめざす値は、府民一人あたりの敷地面積標準5m<sup>2</sup>以上に対して低く設定されており、同規模自治体と比較しても低くなっている。計画値やめざす値が適正かどうか、今一度検討が必要である。

【今後検討すべき課題について】

- ・ 特に意見なし。

【その他】

- ・ 特に意見なし。

施策16	上水道の安定供給	施策推進部局	水道局							
めざす暮らしの姿										
1. 水道施設の耐震化及び適切な維持管理がなされ、安全安心でおいしい水が安定的に供給されています。 2. 将来の水需要に見合った施設規模としていくとともに、収益力強化の取り組みにより、収支バランスの取れた企業経営が行われています。										
「めざす暮らしの姿」実現のための施策指標の推移										
指 標	単位	基準値	R3 (2021)		R4 (2022)		R5 (2023)		R6 (2024)	
			計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績見込	めざす値	
1	管路の耐震化率	%	25.8	27.8	28.3	29.7	30.6	31.5	31.5	33.0
2	水道事業会計の経常収益対経常費用比率	%	111.0	105.0	107.4	105.0	105.7	105.0	105.0	105.0

### 1 一次評価(推進部局による内部評価)

指標の達成率	施策の総合評価に関する総括
100.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 安全安心でおいしい水の供給が安定的に行われるよう、水道管路及び施設の耐震化や維持管理が適切に進められている。</li> <li>▶ 収支のバランスなど企業経営の健全性がかろうじて保たれている。</li> </ul>
施策の総合評価	
○	

### 2 二次評価(八尾市総合計画審議会による外部評価)

前期基本計画の検証

施策の総合評価

一次評価

○

➡

二次評価

○

・ 総合評価については、特に異論がないため、一次評価のとおりとする。

第6次総合計画－後期基本計画の策定に向けた提案

**【施策指標について】**

- ・ 指標2の推移から厳しい経営状況と分析しているが、効率的・効果的な事業運営を行っていることが分かるよう、適切な指標の追加を検討することが望ましい。

**【今後検討すべき課題について】**

- ・ 水道は必要不可欠なライフラインであり、水道事業の民営化が進む国もあるが、そうならないために市民も巻き込んで考える仕組みを検討することが望ましい。
- ・ 公営企業単独の努力だけでは難しいことから、経営状況についても市民に積極的に発信し、ともに考える姿勢で検討を進めることが期待される。

**【その他】**

- ・ 老朽化が進む水道管の更新作業等が深刻化しているが、継続した適切な情報発信や分かりやすい説明等、水道料金見直しが必要な場合に市民や利用者の合意が得られるような工夫が期待される。

施策17	防災・防犯・緊急事態対応力の向上	施策推進部局	危機管理							
めざす暮らしの姿										
1. 防災や減災につながる様々な取り組みが広がり、八尾の防災力が向上し、災害に強いまちになっています。 2. 大阪府警・地域・事業所・学校等と連携し、防犯活動や啓発活動に取り組むことにより「大阪重点犯罪」の被害が減っています。 3. 効果の高い啓発活動により、市民や職員における危機管理意識が向上しています。										
「めざす暮らしの姿」実現のための施策指標の推移										
指標	単位	基準値	R3 (2021)		R4 (2022)		R5 (2023)		R6 (2024)	
			計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績見込	めざす値	
1	地区防災計画策定済み地区数	地区	-	8	1	14	2	21	3	28
2	大阪重点犯罪認知件数	件	295	275	296	265	294	255	290	245
3	学生防犯隊活動回数	回	-	12	7	12	12	12	12	12
4	危機管理マニュアルの更新率	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

### 1 一次評価(推進部局による内部評価)

指標の達成率	施策の総合評価に関する総括
75.6%	<ul style="list-style-type: none"> <li>地区防災計画について、全28小学校区での策定をめざし、庁内関係部局と連携を図りながら作成支援を行うとともに、地区防災計画作成支援アドバイザーを派遣している。しかしながら、コロナ禍で意見集約の機会が減ったことが影響し、地区防災計画策定済み地区については、令和3年度(2021年度)に1地区、令和4年度(2022年度)に1地区、令和5年度(2023年度)に1地区(見込み)の計3地区となった。</li> <li>防犯カメラの設置及び町会の防犯灯の設置、維持管理への補助、大阪府警をはじめ各種関係団体や学生防犯隊と連携した防犯活動等により、大阪重点犯罪の中でも「車上ねらい」「部品ねらい」「自動車盗」等の自動車関連犯罪は減少したが、巧妙な手口の悪質化により「特殊詐欺」の被害件数が増加した。危機管理対応方針に基づき、新型コロナウイルス感染症をはじめ危機事象に対し必要な庁内体制整備を図るとともに、市政だよりやホームページ等で啓発を行い、市民の危機管理意識の向上を図った。</li> </ul>
施策の総合評価	
○	

### 2 二次評価(八尾市総合計画審議会による外部評価)

前期基本計画の検証

施策の総合評価

一次評価

→

二次評価

!

・ 指標について議論があったが、総合評価については、一次評価のとおりとする。

第6次総合計画－後期基本計画の策定に向けた提案

**【施策指標について】**

- 指標1について、コロナ禍で集会する機会が減少したほか、避難所運営や避難経路の安全確認など地域で丁寧な議論を進めていることで実績が伸び悩んでいるが、各校区の防災意識は高まっていることから、次年度以降の進展に向けた詳細な要因分析が必要である。
- めざす暮らしの姿1の「八尾の防災力が向上」について、指標1のみで進捗状況を評価することが難しい。能登半島地震の経験も踏まえ、要支援者の避難や福祉避難所等共助のつながりづくりといったソフト面の評価を検討する必要がある。

**【今後検討すべき課題について】**

- 特に意見なし。

**【その他】**

- 小・中学校の各避難所における電源確保の取り組みについて、防災訓練や細かな情報提供を通じ、災害発生時にも円滑な活用を期待する。
- 災害発生時の避難情報は、個人の避難判断の参考となり得る。様々な情報を把握し、迅速な情報発信を期待する。
- 市や府のホームページに災害情報が掲載されていても、ツールを活用できない高齢者等もいる。防災行政無線のみならず多様な情報発信の充実とともに、近所同士の声掛けと共助のつながりを促進するための支援を期待する。

施策18	消防力の強化	施策推進部局	消防本部							
めざす暮らしの姿										
1. 消防力の強化により、市民の生命、身体、財産の安全・安心が守られています。 2. 市民・地域や事業所、各種団体との連携により地域における消防防災力の向上が図られ、災害に強いまちとなっています。										
「めざす暮らしの姿」実現のための施策指標の推移										
指標	単位	基準値	R3 (2021)		R4 (2022)		R5 (2023)		R6 (2024)	
			計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績見込	めざす値	
1	災害想定訓練(指令・警防・救急・救助)回数	回	611	700	1,690	700	1,296	700	1,256	700
2	防火管理者の選任率	%	93.0	95.0	97.0	96.0	96.0	97.0	96.3	98.0
3	自主防災訓練の自立型訓練実施率	%	18.9	30.0	98.1	40.0	46.3	50.0	50.0	60.0

### 1 一次評価(推進部局による内部評価)

指標の達成率	施策の総合評価に関する総括
99.8%	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 「八尾市消防庁舎建設基本構想」及び「八尾市消防本部庁舎建設基本計画」を策定し、消防本部庁舎等の建設事業を進めるとともに、デイトタイム救急隊の増隊や多機能消防車及び感染症対策用救急車等を整備したことで、消防力が強化され、市民の安全・安心を守ることができた。</li> <li>▶ 防火管理者の未選任対象物について防火管理者資格取得講習を早期に受講するよう指導することにより事業所における防火管理体制が強化された。</li> <li>▶ 消防団の役割の多様化に対する車両・装備の充実、自主防災訓練の新たな取り組みである動画の視聴に関する環境整備などにより地域における消防防災力の向上が図られた。</li> </ul>
施策の総合評価	
◎	

### 2 二次評価(八尾市総合計画審議会による外部評価)

前期基本計画の検証

施策の総合評価

一次評価

◎

➡

二次評価

◎

・ 総合評価については、特に異論がないため、一次評価のとおりとする。

第6次総合計画－後期基本計画の策定に向けた提案

【施策指標について】

- ・ 指標1「災害想定訓練回数」について、コロナ禍で立ち入り検査等の業務が減少し、訓練に業務をシフトしたことで回数が大幅に増加しているが、コロナ禍後の業務体制を踏まえ、今一度適切な目標値について検討することが必要である。

【今後検討すべき課題について】

- ・ 特に意見なし。

【その他】

- ・ 救急需要の増加に関する報道等もあり、救急体制に対する市民の関心も高い。さらなる適正利用の啓発や人材の育成・確保とともに、将来的な有料化の可能性研究も含め、救急体制の維持に向けた取り組みの検討が期待される。

施策19	健康づくりの推進	施策推進部局	健康福祉部							
めざす暮らしの姿										
1.「みんなの健康をみんなで守る」健康コミュニティづくりを進めることにより、市民一人ひとりが主体的に健康づくりに取り組み、いつまでも心身ともに健康に暮らせる健康でつながるまちが実現しています。										
「めざす暮らしの姿」実現のための施策指標の推移										
指標	単位	基準値	R3 (2021)		R4 (2022)		R5 (2023)		R6 (2024)	
			計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績見込	めざす値	
1	健康のために運動などを心がける市民の割合	%	47.9	53.0	49.1	57.0	48.3	61.0	48.8	65.0
2	糖尿病重症化予防に係る受療率	%	32.6	90.0	73.4	90.0	84.9	90.0	84.9	90.0
3	男性の健康寿命(前年数値)	歳	79.3	79.7	79.6	80.0	78.8	80.2	78.7	80.5
4	女性の健康寿命(前年数値)	歳	83.4	83.8	83.1	84.1	84.0	84.3	84.1	84.6
5	国民健康保険加入者における特定健康診査受診率 【※出納閉鎖時点】	%	29.99	50.0	30.0	55.0	33.0	60.0	35.0	60.0

### 1 一次評価(推進部局による内部評価)

指標の達成率	施策の総合評価に関する総括
86.1%	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 新型コロナウイルス感染症の影響により様々な制約を受ける中、大学・研究機関や企業等と連携して、データ分析に基づく糖尿病をはじめとした生活習慣病予防対策を進め、健康課題解決のための地域での健康づくりの取り組みを進めることができた。</li> <li>▶ コロナ禍において健康への意識が高まる中、市民一人ひとりの主体的な健康づくりを進めることができた。</li> <li>▶ 新型コロナウイルス感染症の影響による健(検)診の受診控えから、令和2年度(2020年度)はがん検診、特定健康診査など、各種健(検)診の受診率が落ちたが、啓発により令和3年度(2021年度)以降、徐々に回復している。受診率の上昇は継続しているが、特定健康診査の受診率の目標値である60%には依然として大きな乖離がある。引き続き、受診勧奨、啓発への創意工夫等を検討するとともに、医師会等、関係機関との連携を図ることにより、受診率の向上に取り組んでいく。</li> </ul>
施策の総合評価	
○	

### 2 二次評価(八尾市総合計画審議会による外部評価)

前期基本計画の検証	施策の総合評価	一次評価	○	➡	二次評価	○
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 胃内視鏡検査(50歳以上)など、がん検診の充実は評価できる。</li> <li>・ 指標について議論があったが、総合評価については、一次評価のとおりとする。</li> </ul>						
第6次総合計画－後期基本計画の策定に向けた提案						
<p>【施策指標について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指標5「特定健康診査受診率」は計画値と大きな乖離があるがと分析しているが、その要因を詳細に分析するとともに、今一度適切な計画値及びめざす値について検討することが必要である。</li> </ul> <p>【今後検討すべき課題について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特に意見なし。</li> </ul> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特定健康診査受診率の向上に向け、要因分析に基づき、多様な手段による効果的な広報・周知が期待される。地域コミュニティによって健康づくり活動の開催日・時間・内容等が異なる。希望する活動に参加できない場合の補完的な取り組みや情報発信等、参加機会の充実を期待する。</li> <li>・ がん検診の啓発・周知については、地域情報を取り扱う民間のwebサイトを活用する等、公式のホームページやSNS以外の手法を検討することが望ましい。</li> </ul>						

施策20	健康を守り支える環境の確保	施策推進部局	健康福祉部 環境部							
めざす暮らしの姿										
1. 市民の生命や健康の安全を脅かす大規模災害や感染症などへの備えが充実しており、市民一人ひとりが、安全かつ安心して健康な生活ができる環境が整っています。										
「めざす暮らしの姿」実現のための施策指標の推移										
指標	単位	基準値	R3 (2021)		R4 (2022)		R5 (2023)		R6 (2024)	
			計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績見込	めざす値	
1	健康危機管理訓練の実施回数	回	2	2	0	2	1	2	1	2

### 1 一次評価(推進部局による内部評価)

指標の達成率	施策の総合評価に関する総括
50.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症という未知の感染症への対応において、保健所の体制や取り組みを修正し、優先順位を考慮しながら8回にも及び流行の波に最前線で対応を続けてきた中で、様々なノウハウを蓄積することができた。また、この経験を踏まえ、現在「予防計画」及び「健康危機対処計画」の策定に取り組むなど、次の感染症危機に備えるための体制を整えており、施策指標の達成には至らないものの、「めざす暮らしの姿」の実現に向けて着実な成果を挙げている。</li> </ul>
施策の総合評価	
○	

### 2 二次評価(八尾市総合計画審議会による外部評価)

前期基本計画の検証

施策の総合評価

一次評価

○

➡

二次評価

○

- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大以降、様々な取り組みが進められているが、既存の指標だけでその進捗状況を評価することは難しい。
- 指標について議論があったが、総合評価については、一次評価のとおりとする。

第6次総合計画－後期基本計画の策定に向けた提案

**【施策指標について】**

- めざす暮らしの姿は一つだが、関連する事務事業は18あり、多岐にわたるテーマの取り組みが進められている。進捗状況を多面的に評価できるよう、指標の追加を検討することが必要である。
- めざす暮らしの姿の実現に向けた自殺対策の取り組みについて、例えば「ゲートキーパー養成講座」に関する指標等の追加を検討することが望ましい。

**【今後検討すべき課題について】**

- 社会情勢の変化に挙げられる「若者等の自殺者数の動向」については注目すべき内容であり、施策間連携を意識して、施策4の若者相談の状況も踏まえた課題の抽出と取り組みの検討が必要である。
- 重要課題に「当施設」とあるが、行政として当たり前の表現であっても、市民にとっての分かりやすさを意識した説明とすることが必要である。

**【その他】**

- 特に意見なし。

施策21	地域医療体制の充実	施策推進部局	健康福祉部 市立病院事務局
------	-----------	--------	---------------

めざす暮らしの姿

1. 市民が適切な医療を受けることができるよう、地域の医療機関等が役割分担と連携を推進し、必要な医療提供体制が確保されています。
2. かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬剤師を持ち、医療機能に応じた役割分担を理解し、適切な医療機関を受診する市民が増えています。

「めざす暮らしの姿」実現のための施策指標の推移

指標	単位	基準値	R3 (2021)		R4 (2022)		R5 (2023)		R6 (2024)	
			計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績見込	めざす値	
1	中河内保健医療協議会・各種懇話会の開催回数	回	6	6	5	6	6	6	6	
2	市立病院における紹介率	%	54.7	50.0	51.7	50.0	56.5	50.0	67.3	50.0
3	市立病院における逆紹介率	%	80.5	70.0	86.4	70.0	90.5	70.0	82.3	70.0
4	「かかりつけ医」を持っている市民の割合	%	74.2	80.0	73.3	80.0	73.2	80.0	73.5	80.0

1 一次評価(推進部局による内部評価)

指標の達成率	施策の総合評価に関する総括
98.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 大阪府医療計画に基づく各種懇話会に参画し、府や中河内圏域内各市の医療体制構築にかかる連携を推進した。また、休日・夜間などの緊急時に適切な医療が受けられるよう、休日急病診療所を運営するとともに、中河内医療圏内の2市との連携による広域運営事業により、小児初期救急医療体制及び二次救急医療体制を確保するなど、救急医療体制の充実に取り組んだ。</li> <li>▶ 市立病院においては、新型コロナウイルス感染症への対応を最優先する中でも、通常診療との両立に努めることで、地域医療支援病院として、紹介率・逆紹介率の目標を達成した。</li> </ul>
施策の総合評価	
◎	

2 二次評価(八尾市総合計画審議会による外部評価)

前期基本計画の検証

施策の総合評価

一次評価

◎

➔

二次評価

◎

!

・ 指標について意見があったが、総合評価については、一次評価のとおりとする。

第6次総合計画－後期基本計画の策定に向けた提案

【施策指標について】

- ・ 指標1の「中河内保健医療協議会・各種懇話会」を開催したことで、めざす暮らしの姿の実現にどう貢献したのか、指標とめざす暮らしの姿との整合性が分かりにくい。どのような成果がもたらされているのか詳細に分析するとともに、市民理解を深める情報発信の充実が期待される。

【今後検討すべき課題について】

- ・ 特に意見なし。

【その他】

- ・ かかりつけ医等の普及について、市民に十分な啓発が進んでいないと感じる。その定義、必要性や有用性についての情報発信を充実することが期待される。

施策22	良好な生活環境の確保・地球環境の保全	施策推進部局	環境部
------	--------------------	--------	-----

**めざす暮らしの姿**

1. 環境を意識した暮らしや事業活動により、河川や空気がきれいな状態に保たれ、温室効果ガスの排出量削減に向け、市民、事業者と行政が一体となって取り組みを進めています。
2. 市民や事業者等が地域の美化活動に自主的に取り組むとともに、美化をテーマにした市民活動や地域でのネットワークが強化され、まちが美しく清潔に保たれています。
3. 市民や事業者等と協働し、3R(リデュース・リユース・リサイクル)を推進することで、資源が循環して利用され、廃棄物が減少するとともに、排出される廃棄物が適正に管理、処理されています。

**「めざす暮らしの姿」実現のための施策指標の推移**

指標	単位	基準値	R3 (2021)		R4 (2022)		R5 (2023)		R6 (2024)	
			計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績見込	めざす値	
1	環境基準適合率(大気環境・水質環境・騒音環境)	%	100.0	100.0	99.2	100.0	99.2	100.0	100.0	100.0
2	市域の温室効果ガス排出量(実績値は現状の最新値)	万t-CO2	146	141	126	138	130	125	125	119
3	地域一斉清掃受付件数	件	899	900	878	910	912	920	920	930
4	資源化されている量を除くごみ処理量	t	69,864	67,426	68,209	65,896	66,682	64,594	65,380	63,291

**1 一次評価(推進部局による内部評価)**

指標の達成率	施策の総合評価に関する総括
99.7%	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 市民や事業者等と連携した事業展開により、市内の大気や水質の環境基準の達成や温室効果ガス削減の成果が得られたが、温室効果ガス削減については、前期基本計画期間中に八尾市地球温暖化対策実行計画を改定し、より高い目標値を掲げており、取り組みの拡充を図る必要がある。</li> <li>▶ 地域での美化活動や路上喫煙対策については、地域や事業者等とのパートナーシップによる清掃活動や啓発活動が充実し、まちの美化に貢献した。</li> <li>▶ 有価物集団回収の促進、指定袋分別収集によるごみの減量・資源化、広域的な廃棄物の処理、事業系一般廃棄物の適正処理、食品循環資源の再生利用の促進、産業廃棄物適正処理の推進等により、廃棄物の減量化・資源化を進めた。</li> <li>▶ 全体的な廃棄物量は減少傾向となったが、八尾市一般廃棄物処理基本計画(ごみ編)の目標達成に向け、更なる効率的な減量及び資源化の取り組みを推進する必要がある。</li> </ul>
施策の総合評価	
○	

**2 二次評価(八尾市総合計画審議会による外部評価)**

前期基本計画の検証

施策の総合評価

一次評価

○

➡

二次評価

○

・ 総合評価については、特に異論がないため、一次評価のとおりとする。

第6次総合計画－後期基本計画の策定に向けた提案

**【施策指標について】**

- ・ 指標2の「温室効果ガス排出量」については、各自治体個別の産業構造・地域特性により削減目標が異なることから比較対象は難しいとのことだが、地球温暖化は地球規模の課題であることも踏まえ、計画値の妥当性について今一度議論することが必要である。

**【今後検討すべき課題について】**

- ・ 特に意見なし。

**【その他】**

- ・ 家庭系ごみの可燃ごみ量が計画値よりも高く推移している状況について、要因分析を詳細に行うとともに、コロナ禍以降の推移を注視することが期待される。
- ・ 太陽光パネルの設置については、周辺の景観や環境等に配慮されるよう、規制・誘導等の手法の検討が期待される。

施策23	つながり・支え合う地域福祉のしくみづくり	施策推進部局	健康福祉部							
めざす暮らしの姿										
<p>1. 包括的な支援により、すべての市民が夢や生きがいをもって、孤立することなく住み慣れた地域で自分らしく暮らしています。</p> <p>2. 地域において、住民一人ひとりが尊重され、お互いの多様性を認めながら、支え手側と受け手側に分かれるのではなく、それぞれが役割を持ち、支え合うことで、自分らしく活躍しています。</p>										
「めざす暮らしの姿」実現のための施策指標の推移										
指標	単位	基準値	R3 (2021)		R4 (2022)		R5 (2023)		R6 (2024)	
			計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績見込	めざす値	
1	つなげる支援室で支援調整などを行った件数	件	-	100	128	150	105	150	130	200
2	地域での福祉活動における登録制度への登録者数	人	1,880	1,913	1,772	1,926	1,654	1,938	1,938	1,950

### 1 一次評価(推進部局による内部評価)

指標の達成率	施策の総合評価に関する総括
93.3%	<p>▶ 相談支援体制を整えたことにより、各窓口から適切な相談支援機関につながり、これまで介入が困難であった複雑化した課題のある世帯が、「つなげる支援室」につながる体制となっている。</p> <p>そして、関係する機関と協働で、支援の方向性を決定し、役割を分担し支援を行っている。さらに、継続的な支援を通して、福祉サービスや地域の資源につなげる等、再び孤立させない体制に取り組んでいる。</p>
施策の総合評価	
○	

### 2 二次評価(八尾市総合計画審議会による外部評価)

前期基本計画の検証

施策の総合評価

一次評価

○

➡

二次評価

○

・ 指標について意見があったが、総合評価については、一次評価のとおりとする。

第6次総合計画－後期基本計画の策定に向けた提案

【施策指標について】

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響はどの施策にも(指標への影響も)あったと思うが、これをどう捉えるかは検討する必要がある。取り組み件数の減少だけで単純に評価するべきではない。

【今後検討すべき課題について】

- ・ 社会情勢の変化として、8050問題や引きこもり等は注目すべき非常に重要な内容であり、施策4「子ども・若者の健全育成と支援の推進」や施策20「健康を守り支える環境の確保」など、施策間連携を意識した課題の抽出が必要である。
- ・ 重要課題の「重層的支援体制の充実」については、課題を抱える人をいかに把握するかがポイントとなる。民間企業や市民も含め、多様な主体による情報把握やアウトリーチの取り組みの充実が期待される。

【その他】

- ・ 内部評価の総括として、課題を抱える人がつながる「地域の資源」とあるが、行政として当たり前の表現であっても、市民にとっての分かりやすさを意識した説明とすることが必要である。
- ・ めざす暮らしの姿2の実現に向けた取り組みとして、「福祉避難所への直接避難の仕組みの構築」とあるが、他市事例等も参考にしながら、本市における有効性について引き続き点検することが望ましい。

施策24	高齢者が安心して暮らし続けられる社会の実現	施策推進部局	健康福祉部							
めざす暮らしの姿										
1. 身近な地域で高齢者の居場所や社会参加の機会があり、それらを活用しながら高齢者が生きがいをもって自立した生活を送っています。 2. 高齢者が必要なサービスを適切に利用しながら、住み慣れた地域で安心して暮らしています。										
「めざす暮らしの姿」実現のための施策指標の推移										
指標	単位	基準値	R3 (2021)		R4 (2022)		R5 (2023)		R6 (2024)	
			計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績見込	めざす値	
1	在宅高齢者率(年度末時点)	%	93.5	93.9	92.9	94.1	92.6	94.3	92.7	94.5
2	住民主体活動に参加している在宅高齢者の割合	%	0.7	1.5	0.7	2.0	1.0	2.5	1.3	3.0
3	介護保険給付費の計画値における実績値の割合	%	98.0	100.0	100.4	100.0	98.7	100.0	100.0	100.0

### 1 一次評価(推進部局による内部評価)

指標の達成率	施策の総合評価に関する総括
83.4%	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年度(2021年度)から令和5年度(2023年度)までの3か年を計画期間とする「第8期八尾市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画」に基づき、高齢者が安心して暮らし続けられる社会の実現に向けて、地域の中で支え合う仕組みの充実、介護予防・生きがいづくりの推進及び在宅生活支援の充実に係る施策の実施を進めてきた。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、高齢者の外出控え等による社会参加の機会が減少したことにより、地域が主体的に活動する取り組みの支援や高齢者の健康づくりなどの取り組みが十分に進まなかったが、高齢者からの様々な相談が増加する中で早期に関係機関と連携を図り解決することや介護サービス事業者への支援を行うことができた。</li> <li>令和6年度(2024年度)から令和8年度(2026年度)までを計画期間とする第9期計画では、団塊ジュニア世代が65歳を迎え、現役世代が急減する令和22年(2040年)を見据え、地域共生社会の実現に向けた取り組みを継続して実施する必要がある。</li> </ul>
施策の総合評価	
△	

### 2 二次評価(八尾市総合計画審議会による外部評価)

前期基本計画の検証

施策の総合評価

一次評価

△

➔

二次評価

△

・ 総合評価については、特に異論がないため、一次評価のとおりとする。

第6次総合計画－後期基本計画の策定に向けた提案

【施策指標について】

- 指標2「住民主体活動に参加している在宅高齢者の割合」は、市が把握できる限定的な範囲を対象としており、地域で様々な取り組みが行われていることは評価できていない。今一度適切な計画値及びめざす値かどうか、指標の変更も含め検討することが必要である。

【今後検討すべき課題について】

- 認知症については、社会情勢の変化としてその正しい理解の普及促進が挙げられ、重要課題に「見守りネットワークと相談体制の強化」を掲げている。福岡県の大牟田方式等、他市事例も参考にしながら、教育分野における小・中学校の児童・生徒への取り組みについても検討することが期待される。

【その他】

- 「やおオレンジダイヤル」や「高齢者あんしんセンター」は高齢者やその家族の身近な相談窓口として非常に重要な役割を担っており、受付時間や相談方法等についてより一層の市民周知の促進が期待される。

施策25	障がいのある人への支援の充実	施策推進部局	健康福祉部	子ども若者部						
めざす暮らしの姿										
<p>1. 多様化するニーズに対応したサービスや相談体制を活用し、障がいのある人やその家族が住み慣れた地域で安心して暮らしています。</p> <p>2. 保健、医療、福祉、教育等との連携により地域全体で障がいのある人を支えるしくみをつくることで、多様で複合的な課題を抱える障がいのある人やその家族が安心して暮らしています。</p> <p>3. 障がいや障がいのある人に対する理解と合理的配慮が促進されることで、障がいの有無にかかわらず、すべての人が、自己決定が尊重され社会参加と自己実現を図りながら暮らしています。</p>										
「めざす暮らしの姿」実現のための施策指標の推移										
指標	単位	基準値	R3 (2021)		R4 (2022)		R5 (2023)		R6 (2024)	
			計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績見込	めざす値	
1	施設入所者の地域移行者数	人	3	3	4	3	4	4	4	5
2	地域生活支援拠点等の登録者数	人	-	100	125	150	134	160	150	170
3	関係機関との連携により対応した基幹相談支援センターにおける支援件数	件	88	100	58	100	98	100	100	100
4	障がい者雇用率の達成企業割合(前年6月1日時点)	%	47.1	50.6	50.6	49.3	48.2	50.7	50.7	52.2

### 1 一次評価(推進部局による内部評価)

指標の達成率	施策の総合評価に関する総括
98.4%	<ul style="list-style-type: none"> <li>障がいのある人が親なきあとも自分らしく生きていくために、関係者間で協議、連携し、医療的ケア児も含めた夜間等の緊急時に対応するための支援体制の充実やグループホームにおける健康管理体制支援の充実等の取り組みを実施する等、一定の成果は得られたが、多様で複合的な課題を抱える障がいのある人やその家族のすべてが安心して暮らしていくためにはまだまだ課題が多い。</li> <li>障がいのある人やその家族が、住み慣れた地域で、安心して生活できるよう、各種サービス等を適正に提供しつつ、相談体制の充実にも取り組んできたが、全国的にも課題となっている障がいのある人を支える人材の確保については今後も国等と連携して取り組みを行う必要がある。</li> <li>就労支援や社会参加の機会の確保等、障がいや障がいのある人に対する理解啓発を図るための事業も実施しているが、法改正に伴う民間事業者の合理的配慮の義務化等について今後も動向を注視しつつ引き続き理解啓発を推進していく必要がある。</li> </ul>
施策の総合評価	
○	

### 2 二次評価(八尾市総合計画審議会による外部評価)

前期基本計画の検証	施策の総合評価	一次評価	○	➡	二次評価	○
<ul style="list-style-type: none"> <li>総合評価については、特に異論がないため、一次評価のとおりとする。</li> </ul>						
第6次総合計画－後期基本計画の策定に向けた提案						
<p>【施策指標について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特に意見なし。</li> </ul>						
<p>【今後検討すべき課題について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>障がいのある方への支援について、支援学級等のある高等学校までは目に見えるサポートがあるが、その後の自立に向けた道筋を描きにくい点も課題に追加すべきである。年齢に関係なく、自分らしく生きていくために、支援のつながりを意識した基本方針を検討することが望ましい。</li> </ul>						
<p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特に意見なし。</li> </ul>						

施策26	生活困窮者への支援	施策推進部局	健康福祉部							
めざす暮らしの姿										
<p>1. 生活に困窮したときに、誰もが必要な支援を適切に受けることができ、社会とのつながりや居場所を持ち、地域社会の一員として安心して安定した生活を送ることができています。 生活困窮者支援を通じた地域づくりにより、誰もが地域のなかで尊敬をもって安心して暮らし続ける包摂型社会が実現しています。 希望する誰もが、様々な支援を受けながら再スタートを切ることができます。</p>										
「めざす暮らしの姿」実現のための施策指標の推移										
指 標	単 位	基 準 値	R3 (2021)		R4 (2022)		R5 (2023)		R6 (2024)	
			計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績見込	めざす値	
1	相談件数に占める生活困窮者自立支援プランを作成した割合	%	47.5	50.0	46.9	50.0	32.3	50.0	32.3	50.0
2	学習支援事業へ参加する前に比べて勉強の仕方が分かるようになった生徒の割合	%	63.5	70.0	71.0	73.0	68.9	76.0	76.0	80.0
3	自立生活支援を行った生活保護受給者に対する効果のあった件数の割合	%	53.8	58.5	54.5	60.0	49.5	61.0	62.8	63.0

### 1 一次評価(推進部局による内部評価)

指標の達成率	施策の総合評価に関する総括
88.2%	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ リーマンショック後、社会保障制度では救済できない生活困窮者に対し、生活保護に陥る前の自立に向けた支援として生活困窮者自立支援制度ができたが、新型コロナウイルス感染症による影響から未だ生計を立て直せていない世帯も多く、さらなる充実・強化が求められている。誰ひとり取り残さない相談窓口として広く相談を受け止め、寄り添いながら自立に向けた支援を行ってきたが、地域社会の一員として安心して安定した生活が送れるよう、さらなる支援体制の構築や地域資源の開拓を進める必要がある。</li> <li>▶ 就労支援については、特に失業等により生活保護開始に至った世帯に対し、就労意欲を失わないうちに、積極的に就労支援につなぐことで、早期の就労、自立へと導けるようハローワーク等とも連携しながら、きめ細かな支援ができた。</li> </ul>
施策の総合評価	
○	

### 2 二次評価(八尾市総合計画審議会による外部評価)

前期基本計画の検証

施策の総合評価

一次評価

○

➡

二次評価

○

・ 総合評価については、特に異論がないため、一次評価のとおりとする。

第6次総合計画－後期基本計画の策定に向けた提案

**【施策指標について】**

- ・ 施策の対象する「生活困窮者」の定義を明確にするとともに、指標化する必要はないが、総数を把握しておくことが望ましい。

**【今後検討すべき課題について】**

- ・ 重要課題に「アウトリーチによる誰ひとり取り残さない支援」とあるが、複雑化する課題を抱える人への支援については、担当課職員だけでなく、行政職員全体の意識や支援スキルの向上が必要である。職員研修等を通じた職員の能力向上とともに、関係課による連携強化が期待される。

**【その他】**

- ・ めざす暮らしの姿は一つだが、様々な市民の意識や状態が含まれている。七つの事務事業が紐づいており、取り組み内容も多岐にわたることから、一つに取りまとめた理由や進捗状況を評価するための指標との整合性について、今一度整理しておくことが望ましい。

施策27	一人ひとりの人権が尊重される差別のない社会の推進	施策推進部局	人権ふれあい部 いじめから子どもを守る							
めざす暮らしの姿										
1. 一人ひとりの人権が尊重され、差別のない、ともに認め合い、すべての生活領域で誰一人取り残されることなく安心して暮らしています。 2. 未然防止、早期発見の取り組みにより、いじめのない社会が実現しています。 3. 職場、地域など様々な場において環境づくりが進むことにより、性別にかかわらず、すべての人が活躍しています。										
「めざす暮らしの姿」実現のための施策指標の推移										
指標	単位	基準値	R3 (2021)		R4 (2022)		R5 (2023)		R6 (2024)	
			計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績見込	めざす値	
1	人権啓発セミナーの内容について満足と答えた参加者の割合	%	82.1	83.0	85.9	84.0	71.3	85.0	89.7	86.0
2	「いじめはどんな理由があってもいけないことだ」と思う児童・生徒の割合	%	96.0	97.0	95.3	98.0	96.1	99.0	95.8	100.0
3	男女共同参画が実現していると思う市民の割合	%	30.0	33.8	27.5	34.1	28.4	34.4	29.0	34.7
4	市の審議会、委員会などにおける女性委員の登用の割合(年度末時点)	%	33.0	36.0	34.5	37.0	35.0	38.0	35.5	39.0

### 1 一次評価(推進部局による内部評価)

指標の達成率	施策の総合評価に関する総括
93.6%	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 関係機関と連携を図り、様々な人権教育・啓発に取り組み、人権意識の高揚を図ったが、50歳以上の参加者が大部分を占めるなど、年齢層に偏りが見られることから十分な成果を得られなかった。50歳未満、特に、子育て世代の人にかに参加してもらおうかが課題である。</li> <li>▶ 専門性が高く性別に着目した人選が困難な審議会や、団体の性質により女性委員を推薦いただくための働きかけが困難な審議会が存在することから、多様な意見が意思決定に反映されるよう、個々の審議会に応じた働きかけを行う必要がある。</li> <li>▶ 子どもの権利を守るため、いじめの未然防止や早期発見に向けた環境づくりについては、学校外からのアプローチによるいじめ防止対策等と一体的に取り組むを進める必要がある。</li> </ul>
施策の総合評価	
○	

### 2 二次評価(八尾市総合計画審議会による外部評価)

前期基本計画の検証

施策の総合評価

一次評価

○

➔

二次評価

○

・ 指標について意見があったが、総合評価については、一次評価のとおりとする。

第6次総合計画－後期基本計画の策定に向けた提案

**【施策指標について】**

- ・ 指標2の達成率が低下傾向にある点については、児童・生徒に対して「いじめをいけないことだと思わない理由」についてのアンケートを実施する等、十分な要因分析を行う必要がある。

**【今後検討すべき課題について】**

- ・ 離婚やDV被害、ハラスメント等について、相談件数が年々増加していることは深刻な課題であり、今後の重要課題に追加すべきである。対応方針として、シェルター等の確保や設置についても検討することが期待される。

**【その他】**

- ・ めざす暮らしの姿3の進捗状況を評価するためには、主な取り組みの相談事業や自立支援について、実施回数や対象人数等、具体的なデータを記載することが必要である。行政の取り組み状況を市民に分かりやすくするための工夫が期待される。

施策28	平和意識の向上	施策推進部局	人権ふれあい部							
めざす暮らしの姿										
1. 核兵器の恐ろしさや戦争の悲惨さを伝える体験講話を通じて、次代を担うすべての若者・子どもたちが、平和の大切さを理解しています。 2. 一人ひとりの市民が、戦争のない、核兵器のない、対話による平和な社会の大切さを認識し、国際平和に貢献する地域社会が創造されています。										
「めざす暮らしの姿」実現のための施策指標の推移										
指標	単位	基準値	R3 (2021)		R4 (2022)		R5 (2023)		R6 (2024)	
			計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績見込	めざす値	
1	平和学習の受講者数	人	2,849	2,800	1,756	2,800	2,454	2,800	2,826	2,800
2	平和な社会が大切だと感じている市民の割合	%	97.9	100.0	95.6	100.0	95.1	100.0	96.0	100.0

### 1 一次評価(推進部局による内部評価)

指標の達成率	施策の総合評価に関する総括
98.0%	▶ 被爆体験者の講話や戦争遺跡を通して、戦争による悲惨な体験や生活を経験していない世代に、戦争のない、核兵器のない、平和な社会の大切さを認識してもらうことができた。
施策の総合評価	
○	

### 2 二次評価(八尾市総合計画審議会による外部評価)

前期基本計画の検証

施策の総合評価

一次評価

○

➔

二次評価

○

・ 指標について議論があったが、総合評価については、一次評価のとおりとする。

第6次総合計画－後期基本計画の策定に向けた提案

**【施策指標について】**

- 指標1は小・中学生のみを対象としており、「すべての若者・子どもたち」を対象とするめざす暮らしの姿の進捗状況の一部しか評価することができない。若者に対する取り組みやその広がりを評価するための適切な指標について、今一度議論することが必要である。

**【今後検討すべき課題について】**

- 重要課題の「幅広い年齢層への平和の大切さの啓発」について、若者の意識向上が重要である。小・中学生を対象とする平和学習に加えて、それぞれのライフステージ・年代に応じた継続的な啓発が望ましい。

**【その他】**

- 特に意見なし。

施策29	多文化共生の推進	施策推進部局	人権ふれあい部
------	----------	--------	---------

**めざす暮らしの姿**

1. 様々な国籍の人たちが文化や習慣などの相互理解を深め、尊重し、学びあいながら共生しています。  
 2. 共生社会の推進により、多くの外国人市民が八尾のまちに集まり、学び、働き、活躍しています。  
 3. 姉妹・友好都市をはじめとする海外の都市との交流が活発に行われ、互いの文化や歴史の理解が深まり、豊かな共生社会が形成されています。

**「めざす暮らしの姿」実現のための施策指標の推移**

指標	単位	基準値	R3 (2021)		R4 (2022)		R5 (2023)		R6 (2024)	
			計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績見込	めざす値	
1	国際交流センター事業参加者数	人	3,987	3,950	1,540	4,000	2,230	4,050	2,500	4,100
2	外国人相談窓口における相談件数	件	1,134	1,500	2,576	1,500	2,280	1,500	2,400	1,500
3	国際交流に興味のある市民の割合	%	45.3	52.0	50.0	53.0	50.8	54.0	52.0	55.0

**1 一次評価(推進部局による内部評価)**

指標の達成率	施策の総合評価に関する総括
<b>86.0%</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国人相談事業や多言語情報提供事業を通して、新型コロナウイルス感染症対策やワクチン接種関連の課題に対応したことで、外国人市民の不安解消につながった。</li> <li>姉妹・友好都市をはじめとする海外の都市との交流においては、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、人的交流の実施が不可能となった中で、文化作品交流やオンラインを活用した交流を行い、国際交流を継続することができた。</li> </ul>
施策の総合評価	
○	

**2 二次評価(八尾市総合計画審議会による外部評価)**

前期基本計画の検証

施策の総合評価

一次評価

○

➡

二次評価

○

・ 総合評価については、特に異論がないため、一次評価のとおりとする。

第6次総合計画－後期基本計画の策定に向けた提案

**【施策指標について】**

- 後期基本計画においては、八尾の子どもたちが多文化共生をどう学ぶかという視点が必要である。多文化共生を児童生徒がどのくらい理解しているのか測るような指標が必要になる。

**【今後検討すべき課題について】**

- 重要課題として、外国籍市民の増加に対する「情報発信・情報提供」を挙げているが、これらはあくまでも手段の一つであり、どういった課題があるかを抽出した上で、対策方法を検討することが重要である。課題の一例として、日本語学習機会の提供、就労環境の整備や医療通訳等が考えられるが、どの課題に対して「情報発信・情報提供」をするのか、という流れで課題を設定する必要がある。「外国人市民会議」から意見や課題を把握しているのであれば、その点も明記する方が分かりやすい。
- 多文化共生の推進には、八尾の子どもが多文化共生をどう学ぶかという視点を持ち、教育委員会も施策推進部に追加する等、学校教育における展開を検討することが期待される。

**【その他】**

- 特に意見なし。

施策30	地域のまちづくり支援・市民活動の促進	施策推進部局	人権ふれあい部 総務部
------	--------------------	--------	-------------

めざす暮らしの姿

1. 地域住民が多様な主体と協力・連携し、地域課題の解決に向けた活動が実践されています。
2. 様々な地域活動や市民活動へ、多くの市民が参加することで、地域の組織運営や、地域活動や市民活動の持続性が高まっています。
3. 様々な人材や活動をつなぐことで、地域の活性化につながるアイデアの創出や、より多くの活動資源が集まるようになっていきます。

「めざす暮らしの姿」実現のための施策指標の推移

指標	単位	基準値	R3 (2021)		R4 (2022)		R5 (2023)		R6 (2024)	
			計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績見込	めざす値	
1	校区まちづくり協議会が多様な主体と連携した事業数	本	4	4	6	5	19	6	19	7
2	町会加入世帯率	%	61.7	60.5	58.9	60.5	57.0	60.5	55.2	60.5
3	市民活動支援ネットワークセンター「つどい」を介して連携した件数	件	-	22	22	23	23	24	24	25

1 一次評価(推進部局による内部評価)

指標の達成率	施策の総合評価に関する総括
97.1%	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 校区まちづくり協議会及びその活動に対する認知や参加がかねてからの課題であるが、令和4年度に実施した市政だよりアンケート結果においても、交付金の活用や協議会の認知度は低い結果となった。第3期わがまち推進計画の策定では、ワークショップの開催等を促すことにより、市民がまちづくりに関わる機会が創出された。また、従来のわがまち推進計画の設えから簡素化を推奨したことで、市民自らの手で対話を経て計画策定に取り組み、半数を超える校区で全戸配布されるなど、認知度向上に取り組まれている。</li> <li>▶ 校区まちづくり交付金制度については、立上げ時からの課題や10年経過する中で見えてきた課題を解消するため、八尾市市民参画と協働のまちづくり基本条例評価委員会の提言等も踏まえ、全市画一的ではなくそれぞれの地域の状況に応じて事業を進めていくことができるように交付金制度を検討している。</li> <li>▶ 出張所では届出証明発行業務を再開し、限られた人員体制の中で、地域支援に加え身近な行政窓口としての役割を担っている。</li> <li>▶ 町会自治会の加入促進や担い手への研修や好事例の紹介を行っているが、価値観の多様化が一層進む中、町会加入率の低下に歯止めが利かない状態が継続している。</li> <li>▶ 市民活動支援ネットワークセンターを運営し、中間支援を行うことにより、多様な主体の活動を促進することができた。今後は中間支援のあり方検討を踏まえ、組織として必要な機能を整理し、強化していく必要がある。</li> <li>▶ 市民活動支援基金事業助成金により、市民活動団体等への支援を行い、組織基盤の強化等を図ることができた。今後も市民活動団体等の自立・発展・継続につながるよう、制度の見直しを続けていく必要がある。</li> </ul>
施策の総合評価	○

2 二次評価(八尾市総合計画審議会による外部評価)

前期基本計画の検証

施策の総合評価

一次評価

○

➡

二次評価

○

・ 総合評価については、特に異論がないため、一次評価のとおりとする。

第6次総合計画－後期基本計画の策定に向けた提案

【施策指標について】

- ・ 特に意見なし。

【今後検討すべき課題について】

- ・ 町会・自治会や校区まちづくり協議会等、地域活動に関連する組織や、組織をつなげる中間支援組織がある中で、多くの地域住民が各組織の違いや有用性を知らない点は課題の一つである。町内会等への加入の意義についても意識・認識している市民は少ない。

【その他】

- ・ 町会加入率の低下が続く中で、若者の町会加入に向けた取り組みとして、若者が祭りになると地元に戻ってくる現象について調査・研究の可能性を検討することが望ましい。
- ・ コミュニティに若者がどのように関わるかは重要なポイントである。校区まちづくり協議会等が実施するイベントの機会を活かして地域活動を知ってもらう等、様々な機会を活用した若者への周知が期待される。

施策31	生涯学習とスポーツの振興	施策推進部局	教育委員会事務局 魅力創造部							
めざす暮らしの姿										
<p>1. 市民が生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、学んだ知識や成果を社会に還元できる環境づくりにより、自己の人格を磨き、高い幸福感を持ちながら地域社会で活躍しています。</p> <p>2. 市民が、ライフステージに応じたスポーツや運動を継続的に取り組み、地域社会がスポーツを通じて、都市の魅力と人々の活気にあふれています。</p>										
「めざす暮らしの姿」実現のための施策指標の推移										
指標	単位	基準値	R3 (2021)		R4 (2022)		R5 (2023)		R6 (2024)	
			計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績見込	めざす値	
1	生涯学習施設で実施する講座等の参加者数	人	92,995	104,000	33,262	106,000	32,772	108,000	40,700	111,000
2	生涯学習施設で実施した講座の修了生の成果発表者数	人	-	1,220	0	1,260	0	1,300	1,200	1,340
3	スポーツ施設の利用者数	人	883,866	817,000	575,682	872,000	731,487	931,000	784,489	995,000

### 1 一次評価(推進部局による内部評価)

指標の達成率	施策の総合評価に関する総括
71.4%	<p>▶ 生涯学習関連では、新型コロナウイルス感染症対応やこども総合支援センター開設に伴う工事による生涯学習センター「かがやき」の臨時休館期間があり、参加者数がコロナ前を下回った。</p> <p>また、生涯学習施設で実施した講座の修了生の成果発表者数については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から予定していた成果発表の場となる行事が中止となったため、計画値を下回った。</p> <p>今後は、施設の利用促進と参加意欲等を高めていくためにも魅力あるメニューを取り入れていく必要がある。</p> <p>▶ スポーツ関連では、新型コロナウイルス感染症の影響が残る中、感染防止対策を講じた上で各種スポーツイベント等を開催し、スポーツ施設の利用者数を大幅に延ばすことができ、また新たにスケートボード場及びドッグランを整備することで市民の運動を通じた健康づくり等に貢献した。</p>
施策の総合評価	
△	

### 2 二次評価(八尾市総合計画審議会による外部評価)

前期基本計画の検証

施策の総合評価

一次評価

△

➡

二次評価

△

- ・ 図書館は、土曜・夜間の開館や図書の充実等、八尾のまちの魅力の一つと言えるほど高く評価できる。
- ・ 総合評価については、特に異論がないため、一次評価のとおりとする。

第6次総合計画－後期基本計画の策定に向けた提案

**【施策指標について】**

- ・ めざす暮らしの姿1について、学習機会の充実については指標1や主な取り組み内容から評価できるが、「地域社会での活躍」については、既存指標と総括内容だけでその進捗状況の評価することは難しい。学んだ知識や成果を社会へ還元し、活躍している状態をどのように評価できるのか、指標の追加も含め、今一度議論することが必要である。

**【今後検討すべき課題について】**

- ・ めざす暮らしの姿1に「社会に還元できる環境づくり」が位置付けられているが、市の取り組みでは学ぶ機会に比べて学びの成果を還元する環境づくりが弱い。
- ・ 社会情勢に「多様な学習機会の提供への対応」とあるが、前期基本計画期間において博物館や資料館における取り組みが記載されていない。施策5「やおプロモーションの推進」や施策6「歴史資産などの保全・活用・発信」との施策間連携を意識して、後期基本計画における基本方針や取り組み内容について検討することが期待される。

**【その他】**

- ・ 「社会教育施設」と「生涯学習施設」という言葉が混在しており、市民に分かりやすい表現となるよう用語の統一や定義の明確化が必要である。
- ・ 開館時間の拡大や図書館のきめ細かなサービスについて、十分周知されていない。SNS等も活用しながら、積極的なPRが必要である。

施策32	信頼される行政経営	施策推進部局	政策企画部 総務部 財政部 人権ふれあい部							
<p>1. 財源や人材などの行政資源を計画的・効果的に最大限活用し、市民が必要とする行政サービスが的確に提供される持続可能な行政経営が行われています。</p> <p>2. 住み続けたいと思えるまちとなるよう、大学や企業、他の自治体等の多様な主体との連携による行政活動が進んでいます。</p> <p>3. 行政手続きにおける市民の利便性の向上が図られており、また、必要な情報を正確に手に入れることができます。</p>										
「めざす暮らしの姿」実現のための施策指標の推移										
指標	単位	基準値	R3 (2021)		R4 (2022)		R5 (2023)		R6 (2024)	
			計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績見込	めざす値	
1	八尾市の取り組みに満足している市民の割合	%	62.6	64.0	60.2	65.0	60.8	66.0	61.2	67.0
2	経常収支比率	%	100.4	99.0	96.6	98.0	98.6	97.0	98.6	96.0
3	住み続けたいと感じる市民の割合	%	80.5	83.0	70.2	84.0	70.6	85.0	71.0	86.0
4	大学、企業、他の自治体等と協定や覚書を締結した件数	件	468	490	508	500	500	510	510	520
5	八尾市役所からの情報が入手しやすいと感じる市民の割合	%	36.6	40.0	43.8	43.0	45.6	46.0	48.0	50.0

### 1 一次評価(推進部局による内部評価)

指標の達成率	施策の総合評価に関する総括
94.9%	<ul style="list-style-type: none"> <li>限られた行政資源を計画的・効果的に最大限活用できるよう、財源の安定的な確保や適材適所の人員配置を進めるとともに、毎年度取り組みの見直しを図りながら持続可能な行政経営に努めているが、市民の満足度につながらない状況にある。市民が今必要とする行政サービスを的確に提供できるよう、社会情勢を踏まえたスピード感のある柔軟な対応を進める必要がある。</li> <li>市政だよりの全戸配布や、SNS等の活用による行政情報の発信強化を実施し、情報を入手しやすいと感じる市民の割合は毎年度着実に向上している。引き続き、多様な媒体を活用し、市民が必要とする行政情報にアクセスしやすい環境整備を進める。</li> </ul>
施策の総合評価	
◎	

### 2 二次評価(八尾市総合計画審議会による外部評価)

前期基本計画の検証

施策の総合評価

一次評価

◎

➡

二次評価

◎

- ・ 令和3年度以降ふるさと納税による寄附額が飛躍的に増加しており、大いに評価できるとともに、持続的な取り組みが期待される。
- ・ 総合評価については、特に異論がないため、一次評価のとおりとする。

第6次総合計画－後期基本計画の策定に向けた提案

**【施策指標について】**

- ・ 指標4の大学や企業等との協定締結件数も踏まえ、公民連携により実施した具体的な取り組みによりどのような効果が生じたのかを評価するための指標の追加を検討することが期待される。

**【今後検討すべき課題について】**

- ・ 特に意見なし。

**【その他】**

- ・ 市民の利便性の向上に向け、必要なコストや利用状況も想定したうえで、休日開庁の拡大について可能性の検討が期待される。

施策33	公共施設マネジメントの推進	施策推進部局	政策企画部 財政部 建築部 教育委員会事務局
------	---------------	--------	------------------------

めざす暮らしの姿

1. 計画的かつ適切な維持保全や機能更新により、どのような時でもすべての市民が安全に安心して公共施設(庁舎、コミュニティセンター、教育施設、福祉施設、消防施設など)を利用することができます。
2. 長期的な視点に立って、公共施設の適正な規模や配置の見直しが行われています。
3. PPP/PFI手法の活用等により、民間の資金・ノウハウを活かし、公共施設の管理・運営が効率的に行われています。
4. 未利用施設や未利用地の民間活用や売却等により、適切な資産管理が行われています。

「めざす暮らしの姿」実現のための施策指標の推移

指標	単位	基準値	R3 (2021)		R4 (2022)		R5 (2023)		R6 (2024)
			計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績見込	
1 公共施設が利用しやすいと感じる市民の割合	%	48.4	52.0	50.0	53.0	50.3	54.0	50.6	めざす値 55.0
2 八尾市公共施設マネジメント実施計画の進捗率	%	-	50.0	50.0	75.0	50.0	100.0	100.0	100.0
3 PPP/PFI手法の活用施設数	か所	4	4	4	5	5	5	5	6
4 未利用施設や未利用地の削減数	か所	0	3	5	4	6	5	7	5

1 一次評価(推進部局による内部評価)

指標の達成率	施策の総合評価に関する総括
98.4%	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 公共施設の効率的な機能更新を進めるべく、「八尾市公共施設マネジメント実施計画」及び「八尾市個別施設保全計画」の策定を行い長期の改修サイクルを構築するとともに、施設管理者による日常点検や各種法定点検を活用した短期の修繕サイクルを両輪に、公共施設の維持・保全を進めることができた。</li> <li>▶ 民間のノウハウを取り入れたESCO事業などの各種事業手法の検討を行ない、効率的・効果的な事業運営に努めており、概ね計画を達成できた。</li> <li>▶ 前期基本計画期間においては、「八尾市公共施設マネジメント基本方針」の改定や「八尾市立人権コミュニティセンター及び周辺施設整備基本構想」の策定等への取り組みが主となったため、指標1「公共施設が利用しやすいと感じる市民の割合」の通り、市民が実感できるまでの成果を出すには時間がかかると考える。</li> </ul>
施策の総合評価	
○	

2 二次評価(八尾市総合計画審議会による外部評価)

前期基本計画の検証

施策の総合評価

→

一次評価

○

→

二次評価

○

- ・ PPP/PFI手法は導入の有効性を十分に検討した上で実施するべきであり、指標3「PPP/PFI手法の活用施設数」の計画値では、右肩上がりになることが望ましいという誤解を与えかねないため、適切ではない。
- ・ 指標について議論があったが、総合評価については、一次評価のとおりとする。

第6次総合計画－後期基本計画の策定に向けた提案

**【施策指標について】**

- ・ PPP/PFI手法は、活用施設数が多ければ良いものではなく、導入の有効性を十分に検討し、効果のある施設のみ導入すべきである。めざす暮らしの姿の実現に向けた進捗を測るための適切な指標について、今一度議論することが必要である。
- ・ 指標4「未利用施設や未利用地の削減数」では未利用施設と未利用地を合わせた数値を実績としているが、全く性質が異なるため、個別に把握するとともに、未利用施設や未利用地の総数を把握した上で、計画値を設定することが必要である。

**【今後検討すべき課題について】**

- ・ 重要課題の「市全体の施設の総量の最適化」について、持続可能な自治体経営を考える場合に公共施設の統廃合に関する議論は避けられない。公共施設の機能複合化を進める他市事例もあり、将来見通しとしてこれらのキーワードを追加することが期待される。

**【その他】**

- ・ 特に意見なし。

施策34	行財政改革の推進	施策推進部局	政策企画部							
めざす暮らしの姿										
<p>1. 行財政改革の推進により、多様化・複雑化する市民生活の課題、行政需要への対応や未来に向けた新たな投資を可能とし、まちの成長につなげる改革と成長の好循環を実現しています。</p> <p>2. ICTの活用等により、市民サービスの向上や業務の効率化など、行政活動の生産性が向上しています。</p>										
「めざす暮らしの姿」実現のための施策指標の推移										
指標	単位	基準値	R3 (2021)		R4 (2022)		R5 (2023)		R6 (2024)	
			計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績見込	めざす値	
1	年度末決算における基金残高	億円	67.5	40.0	89.4	40.0	94.3	40.0	84.1	40.0
2	八尾市の取り組みが改善されていると思う市民の割合	%	26.3	27.0	26.3	28.0	27.4	29.0	27.4	30.0
3	マイナンバーの情報照会・提供を行った件数	件	140,000	370,000	469,270	380,000	490,045	390,000	470,000	400,000

### 1 一次評価(推進部局による内部評価)

指標の達成率	施策の総合評価に関する総括
98.2%	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 新やお改革プラン及び同実行計画に基づき、様々な取り組みを進め、より着実に行財政改革を推進するとともに、創出した財源とマンパワーを市民サービスに充てるなど、行政の最適化を行うことで、まちの成長につなげる改革と成長の好循環を実現することができた。</li> <li>▶ ICTの活用等を進め、オンラインで行政手続きが24時間可能な「電子申請サービス」の推進を図り、電子申請の手続き数が増加したことにより、市民サービスの向上につながった。</li> </ul>
施策の総合評価	<p>また、AI-OCRやRPAといったICTツールを庁内で推進することにより、実際に職員が行う作業時間を削減できるなど、業務効率化に一定の効果が見られた。一方で、AI-OCRやRPAの適用可能事務には限界があり、また生成AIなど日々新たなICTツールが誕生しているため、引き続き、業務の効率化等に資する新たなデジタル技術の活用方法等について導入の検討を進める必要がある。</p>
○	

### 2 二次評価(八尾市総合計画審議会による外部評価)

前期基本計画の検証

施策の総合評価

一次評価

○

➡

二次評価

○

・ 総合評価については、特に異論がないため、一次評価のとおりとする。

第6次総合計画－後期基本計画の策定に向けた提案

**【施策指標について】**

- ・ ICT活用による市民サービスの向上の一つとして「電子申請サービス」がある。ユーザ登録数は成人市民の1割程度とのことだが、市民への啓発や利用促進につながるよう、サービスの利用率や登録者数を指標化することが期待される。

**【今後検討すべき課題について】**

- ・ 重要課題の「デジタル人材の育成」について、デジタルに関する意識の向上が含まれることから一度に達成することは難しく、段階的かつ長期的な視点で継続した取り組みを行う必要がある。課題は具体的に、市民に分かりやすい表現となるよう工夫するとともに、どのように進捗状況进行评估するかも検討することが望ましい。

**【その他】**

- ・ ICT化や業務効率化の進捗状況については、近隣都市と比較しながら、先進的な取り組みを進めることが期待される。

#### (4) 評価の総括

行政の一次評価に対する検証の結果については、全体としてどの審議事項についても概ね妥当な一次評価をされていたと判断しました。このことから、前期基本計画の進捗は基本構想に掲げる将来都市像の実現に向け、概ね順調に進んでいると言えます。

しかし、各施策の個別審議事項に目を向けると、これまで示した通り、各委員からは前期基本計画期間において不足していると感じられる点、後期基本計画に向けて改善が必要な点や行政に期待する新たな取り組み姿勢などについて様々な意見が出されました。各委員から出された意見について、共通して言える事柄を、全般的な提案事項として以下に取りまとめました。

#### 【全般的提案事項】

前期基本計画において、不足していると思われる点、後期基本計画で必要と思われる点を全般的提案としてまとめました。

##### ① めざす暮らしの姿の実現に向け、『今後検討すべき課題』を意識して課題整理することが必要

これまでの主な取り組みや指標の達成状況とともに、社会情勢の変化を踏まえて今後の重要課題が分析されているにも関わらず、施策総括書の表現では十分に読み取れない施策が多く見受けられました。後期基本計画の策定に際しては、これまでの実績と社会情勢の変化を踏まえた上で、課題の抽出・整理が必要です。評価結果の「今後検討すべき課題」における指摘事項を踏まえ、課題の抽出とその要因分析を十分に行った上で、適切な基本方針を検討することが期待されます。

##### ② めざす暮らしの姿とその進捗を定量的に図る施策指標の整合性が必要

各施策のめざす暮らしの姿に対して、その進捗を定量的に図るための施策指標が設定されていますが、めざす暮らしの姿が実現している状況かどうか分かりづらい指標があります。めざす暮らしの姿と指標の対応を明確にするとともに、めざす暮らしの姿の進捗を表す指標となっているかどうか、整合性を改めて確認することが必要です。

##### ③ 取り組みの成果として、満足度や認知度等、市民の意識や感情を測定する指標が必要

施策指標は取り組みの成果を図る「成果指標」となっていますが、継続的に進捗を確認できるよう、計測が容易で行政が管理しやすい指標が設定されがちです。めざす暮らしの姿は市民の意識や活動の状態を表すものが多いことから、その進捗状況を評価するには、取り組みの成果として市民にどのような意識が生じ、行動変容につながったのかを把握することが必要です。取り組みに対する満足度や認知度等、市民の意識や感情を測定する指標の設定を検討することが必要です。

##### ④ 若い世代への情報発信力の強化や、市民の情報入手の機会・環境づくりが必要

ものづくりのまち、充実した子育て支援策や生涯学習施策等、八尾の強みや特性については市内外に大いにPRできる内容が多々あるものの、市民に十分に伝わっていないと感じられます。若者、高齢者等対象者に応じて、多様な媒体を活用し、より積極的に情報発信することが必要です。例えば、災害発生時の情報、DV・ハラスメント等に関する支援の情報や教育・子育てに関する情報等、緊急度や重要度も考慮しながら、誰もが必要な時に必要な情報を、的確かつ迅速に入手できるよう、情報入手の機会・環境づくりに一層の配慮と努力が必要です。

## あしがき

(※第4回評価部会のご意見を踏まえ、取りまとめます)

## ■資料編

参考資料1. 八尾市総合計画策定条例

参考資料2. 八尾市総合計画審議会規則

参考資料3. 会議の公開に関する指針

参考資料4. 八尾市第6次総合計画前期基本計画総括報告書